

AccordHub ユーザーズガイド

バイヤー / セラー向け 操作マニュアル

バージョン: v0.11

生成日: 2026-05-25

accordhub-experimental.vercel.app

目次

はじめに

はじめに

第 1 章 はじめての操作

- 1.1 新規登録
- 1.2 ログイン / ログアウト
- 1.3 アカウント設定
- 1.4 ロールについて

第 2 章 案件管理

- 2.1 案件を作成する
- 2.2 案件カテゴリの選び方
- 2.3 案件のステータスとライフサイクル
- 2.4 メンバーを招待する
- 2.5 セラー会社を招待する
- 2.6 既存案件を取り込む (Baseline オンボーディング)

第 3 章 要件定義

- 3.1 要件定義の 3 つの入力方法
- 3.2 フォームで要件を入力する
- 3.3 AI ヒアリング (テキストモード)
- 3.4 AI ヒアリング (音声モード)
- 3.5 要件概要書を生成する
- 3.6 要件概要書を編集する
- 3.7 要件概要書を PDF で出力する
- 3.8 要件概要書を承認する (確定)
- 3.9 PII マスキング (会社名・個人名などの伏字)
- 3.10 機能要件に受入条件 (Given / When / Then) を付ける
- 3.11 AI 品質レビューで要件をチェックする
- 3.12 非機能要件 (非機能要求グレード2018)
- 3.13 やらないこと (スコープ外・禁止事項)

第 4 章 案件ルーム (チャット)

- 4.1 共通ルームとセラー個別ルーム
- 4.2 メッセージを送信する
- 4.3 メッセージを共通ルームへ昇格する (promote)
- 4.4 チャットから合意ログを生成する (analyze)

第 5 章 議事録と会議

- 5.1 会議スケジュールを作成・通知設定する
- 5.2 議事録を追加する
- 5.3 録音から議事録を自動生成する
- 5.4 議事録の AI 分析と要件書への反映
- 5.5 議事録のマスタードキュメント
- 5.6 音声ファイルの管理と文字起こし

第 6 章 見積 (RFQ)

- 6.1 見積機能の全体像と設計思想
- 6.2 レートカードを登録する (セラー)
- 6.3 RFQ ラウンドを作成する (バイヤー)
- 6.4 見積を作成・提出する (セラー)
- 6.5 複数セラーの見積を比較する
- 6.6 Round 2 を実施する

第 7 章 ヘルプとフィードバック

- 7.1 ヘルプセンターの使い方
- 7.2 お知らせをチェックする
- 7.3 フィードバックを送信する
- 7.4 Accordに相談 (AI ヘルプアシスタント)

第 8 章 リファレンス

- 8.1 ロール × 権限の早見表
- 8.2 用語集
- 8.3 トラブルシューティング

第 9 章 プロジェクト管理 (WBS / カンバン / ガント)

- 9.1 プロジェクト管理の 3 ビュー
- 9.2 WBS でタスクを洗い出す
- 9.3 カンバンで状態を動かす
- 9.4 ガントチャートで日程を組む

第 10 章 検収

- 10.1 検収チェックリストを生成する
- 10.2 変更履歴とコメント
- 10.3 検収完了と HTML 報告書

第 11 章

- 11.1 フェーズ進捗バーで「今どこ」を可視化する
- 11.2 イベントログで変更履歴を追う
- 11.3 Dues — あなたの担当タスク

第 12 章

- 12.1 ドキュメント機能の全体像
- 12.2 フォルダとページを作成・整理する
- 12.3 ページを編集する (エディタ)
- 12.4 テンプレートから作成する
- 12.5 タスクと紐付ける

第 13 章

- 13.1 業務フローヒアリングの全体像
- 13.2 段階生成 (ハッピーパス → 分岐・例外)
- 13.3 現場担当者をアサインする
- 13.4 業務フローから要件を導出する

はじめに

このガイドについて

このガイドは、AccordHub を使い始める方、ならびに日々利用される方の両方に 向けたユーザーマニュアルです。

機能ごとに章立てしており、必要な箇所だけを参照する辞書的な使い方も、最初から順に読み進めて全体を把握する使い方も想定しています。

このドキュメントの最終ゴールは、「**ガイドを見ずに自然に AccordHub を 操作できる状態**」にあなたを導くことです。最初は手順を確認しながら 進めてもらい、慣れてきたらガイドを閉じて作業できるようになる、というステップを意識して書いています。

対象読者

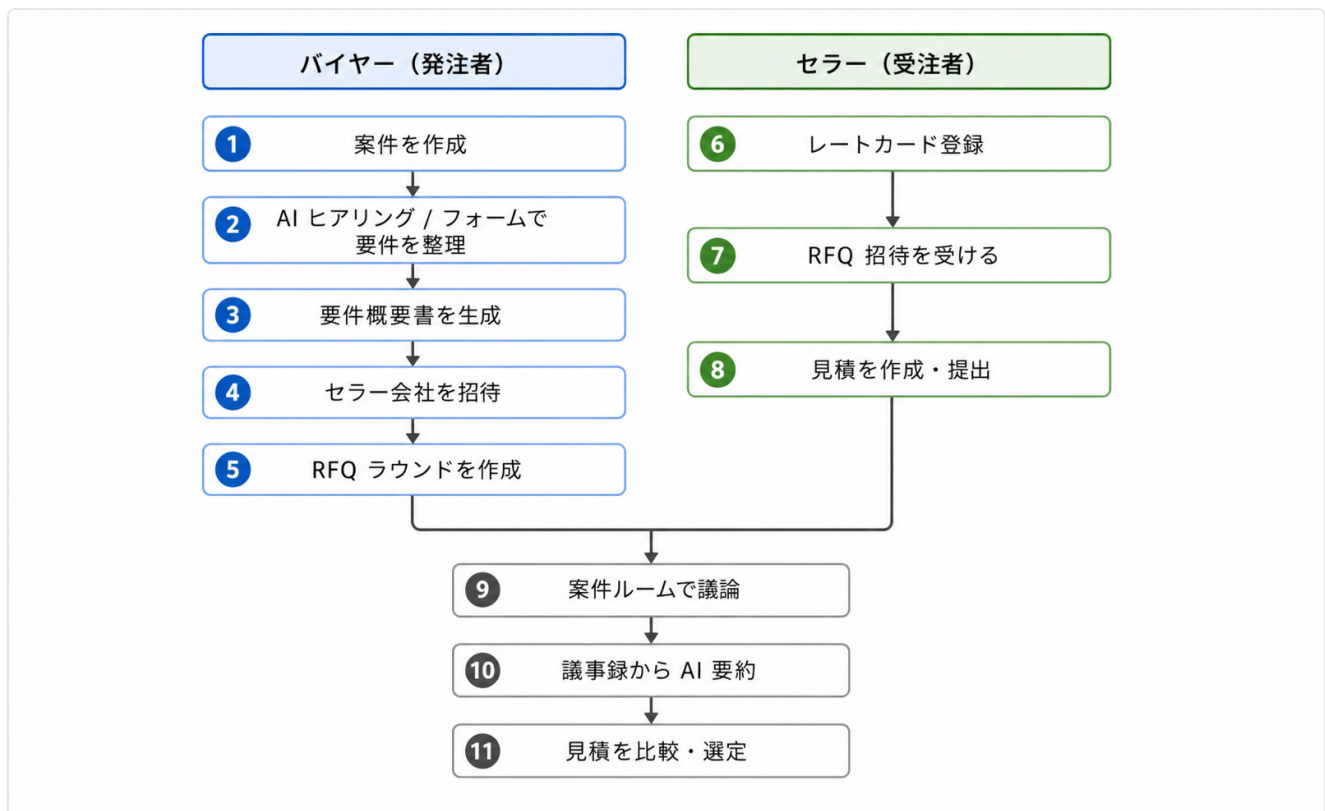
このガイドは以下の方を想定しています。

- **発注者 (バイヤー):** IT 開発を社外に依頼する立場の方
- **受注者 (セラー):** 開発を請け負う立場の方
- **トライアル参加者:** ベータ版を試用するモニターユーザー (バイヤー相当の権限)

ロールによってアクセスできる画面は異なります。各章の冒頭に、「この章の対象ユーザー」を明記しています。

AccordHub の全体像

AccordHub は、IT 開発プロジェクトの **要件定義から見積もり完了までを ひとつのプラットフォームで 完結** させる SaaS です。



ベータ版についての注意

AccordHub は現在ベータ版です。新規登録時のロールは「**トライアル**」固定で、AccordHub の全機能 (発注者相当) を制限なくお試しください。

- 試用中に気付いた不具合や改善要望は、ヘッダの **フィードバック** から お送りください
- 重大な仕様変更が入る場合があります
- 本番リリース時には、トライアルアカウントは発注者 (バイヤー) アカウントへ 自動移行する予定です

詳細は [1.4 ロールについて](#) を参照してください。

用語の前提

このガイドで頻出する用語を簡単に紹介します。詳しくは [8.2 用語集](#) を参照してください。

用語	意味
案件 (プロジェクト)	1つの IT 開発プロジェクトの単位。要件 / 議事録 / 見積を全てまとめる
owner / member	案件メンバーの権限。owner は招待や管理ができ、member は閲覧と発言が中心
共通ルーム / 個別ルーム	案件ルームの 2 種類。共通は全社共有、個別はバイヤーと特定セラーの 1on1
RFQ ラウンド	見積依頼の単位。同じ条件で複数セラーに同時に見積を依頼
レートカード	セラー会社が事前登録する単価表
マスタードキュメント	議事録の合意事項を集約した、案件全体の正規ドキュメント

困ったときは

- 機能の使い方が分からない → このガイドの該当章 / [ヘルプセンター](#)
- バグや改善要望 → [フィードバック](#) から送信
- 緊急の問い合わせ → 運営にメールで連絡 (メールアドレスは別途共有)

それでは、第 1 章「はじめての操作」から始めましょう。

→ [1.1 新規登録](#)

1.1 新規登録

対象ユーザー: AccordHub をはじめて利用される方

この節で学べること

- AccordHub アカウントを作成する手順
- メール確認のフロー
- 登録時のロール選択について

操作手順

1. ブラウザで <https://accordhub-experimental.vercel.app/auth/login> を開く
2. 「アカウントをお持ちでないですか？ 新規登録」をクリック
3. フォームに以下を入力
 - **表示名**: チャットや議事録に表示される名前 (例: 山田太郎)
 - **メールアドレス**: 業務で使うアドレスを推奨
 - **パスワード**: 6 文字以上
4. 青い「ベータ版のお知らせ」パネルを確認 (現在はトライアルのみ選択可)
5. **アカウント作成** をクリック
6. 登録したメールアドレスに確認メールが届くので、リンクをクリック
7. 自動的に AccordHub にログインし、案件一覧画面に移動する

AccordHub

案件一覧 会議 ヘルプ フィードバック resort_to_my_last_trick@yahoo.co.jp ログアウト

AccordHub

アカウントを作成

表示名 (例: 山田太郎)

メールアドレス

パスワード

ベータ版のお知らせ

現在はベータ版のため、登録ロールは **トライアル** のみ選択可能です。トライアルアカウントは AccordHub の全機能 (要件定義 / 議事録 / 見積 など) を制限なくお試しください。

アカウント作成

既にアカウントをお持ちですか? ログイン

⚠ 注意点

- メール確認リンクをクリックするまではログインできません
- 業務メールアドレスでの登録を推奨します。アカウント設定で会社の自動提案に 使われます (詳細は [1.3 アカウント設定](#))
- パスワードリセット機能は現在準備中です。忘れないように管理してください

💡 補足

- 同じメールアドレスでは同時に 1 アカウントのみ作成可能
- ロール (発注者 / 受注者) は登録時に固定されます。後から変更できません
 - ベータ期間中は **トライアル** 固定です

次に読む

- [1.2 ログイン / ログアウト](#)
- [1.3 アカウント設定](#)

1.2 ログイン / ログアウト

対象ユーザー: 既にアカウントをお持ちの方

この節で学べること

- 通常のログイン手順
- ログアウト方法
- セッションの維持期間と再ログインのタイミング

ログイン手順

1. <https://accordhub-experimental.vercel.app/auth/login> を開く
2. 「ログイン」モードであることを確認 (新規登録モードと切替可能)
3. メールアドレスとパスワードを入力
4. **ログイン** をクリック
5. 案件一覧 `/projects` に自動的に遷移

The screenshot displays the AccordHub login interface. At the top, the header includes the AccordHub logo, navigation links for '案件一覧' (Case List), '会議' (Meeting), 'ヘルプ' (Help), and 'フィードバック' (Feedback), along with a user profile 'resort_to_my_last_trick@yahoo.co.jp' and a 'ログアウト' (Logout) button. The main content area features a central login form titled 'AccordHub ログイン'. The form contains two input fields: 'メールアドレス' (Email Address) and 'パスワード' (Password). Below these fields is a prominent black 'ログイン' (Login) button. At the bottom of the form, there is a link that reads 'アカウントをお持ちでないですか? 新規登録' (Don't you have an account? Sign up).

ログアウト手順

1. ヘッダ右上の **ログアウト** ボタンをクリック

2. ホーム画面 / に戻る

 SCREENSHOT: ヘッダのログアウトボタン `assets/01-getting-started/02-logout.png`

注意点

- セッションは一定期間維持されますが、長期間アクセスが無いと再ログインを求められます
- 共有 PC を使う場合は、必ずログアウトしてからブラウザを閉じてください

次に読む

- [1.3 アカウント設定](#)

1.3 アカウント設定

対象ユーザー: 全ユーザー

この節で学べること

- 表示名と所属会社の設定方法
- ドメインベースの会社提案の仕組み
- 新しい会社を登録する方法

アカウント設定画面の開き方

1. ヘッダ右上の自分のメールアドレス (青い文字) をクリック
2. `/account` ページが開く

AccordHub

案件一覧 会議 ヘルプ フィードバック resort_to_my_last_trick@yahoo.co.jp ログアウト

アカウント設定

表示名と所属会社を編集できます。メールアドレスとロールは変更できません。

メールアドレス

resort_to_my_last_trick@yahoo.co.jp

メールアドレスはこの画面では変更できません。

ロール

発注者 (バイヤー)

ロール (発注者/受注者) は登録時に決まり、後から切り替えできません。

表示名

山田太郎

チャットや議事録で表示される名前です。空にすると未設定になります。

所属会社

フリーメール (yahoo.co.jp) のため、ドメインによる会社の自動提案は行いません。下の「新しい会社を登録」から会社を追加してください。

+ 新しい会社を登録

リストにない会社を作成します

× 未所属

後から設定する

変更を保存

表示名を設定する

1. 「表示名」欄に名前を入力 (例: 山田太郎)
2. 50 文字以内
3. **変更を保存** で確定

 SCREENSHOT: 表示名入力欄 `assets/01-getting-started/03-display-name.png`

所属会社を設定する

会社の選択肢は、メールアドレスのドメインから自動で提案されます。

パターン A: 業務メール (例: cal.co.jp)

- 同じドメインのユーザーが所属している会社が「在籍人数」付きでカードで表示される
- カードをクリックして選択

パターン B: フリーメール (gmail.com / yahoo.co.jp など)

- 自動提案はされない
- 「+ 新しい会社を登録」から入力

パターン C: 該当なし → 新規登録

- 「+ 新しい会社を登録」をクリック
- 会社名を入力 (例: 株式会社Accord)
- **変更を保存**

 SCREENSHOT: 会社提案カード (cal.co.jp の例) `assets/01-getting-started/03-company-`

`suggestions.png`  SCREENSHOT: 新しい会社の入力欄 `assets/01-getting-started/03-new-company.png`

変更できない項目

- メールアドレス: 表示のみ
- ロール: 表示のみ。ベータ期間中は「トライアル (ベータ参加)」と表示

次に読む

- [1.4 ロールについて](#)
- [2.1 案件を作成する](#)

1.4 ロールについて

対象ユーザー: 全ユーザー

この節で学べること

- 3つのロール概念 (アカウント / メンバー / 会社)
- ロール別の機能アクセス
- ベータ期間中の「トライアル」ロールの位置づけ

3つのロール概念

AccordHub のアクセス制御は、**3つのロール概念** が組み合わさっています。

概念	値	決まるタイミング
アカウントロール	buyer / seller / trial	サインアップ時。変更不可
プロジェクトメンバーロール	owner / member	案件作成時 (作成者=owner) または招待時
会社種別	buyer / seller	会社作成時

ロール別 機能アクセス (要約)

機能	trial / buyer (owner)	buyer (member)	seller (member)
AI ヒアリング (テキスト / 音声)	✓	✗	✗
要件概要書 生成	✓	✗	✗
RFQ ラウンド作成	✓	✗	✗
メンバー招待	✓	✗	✗
案件ルームの発言	✓	✓	✓
議事録のアップロード	✓	✓	✓
自社の見積編集	(代行可)	✗	✓

詳細表は [8.1 ロール × 権限の早見表](#) を参照。

ベータ期間中: trial ロールについて

ベータ期間中、新規登録時のロールは `trial` 固定です。

- `trial` は **buyer (owner)** と同等のフルアクセス を持ちます
- 全機能を制限なく試せます
- 本番リリース時に `buyer` に自動移行する予定です

次に読む

- [2.1 案件を作成する](#)
- [8.1 ロール × 権限の早見表](#)

2.1 案件を作成する

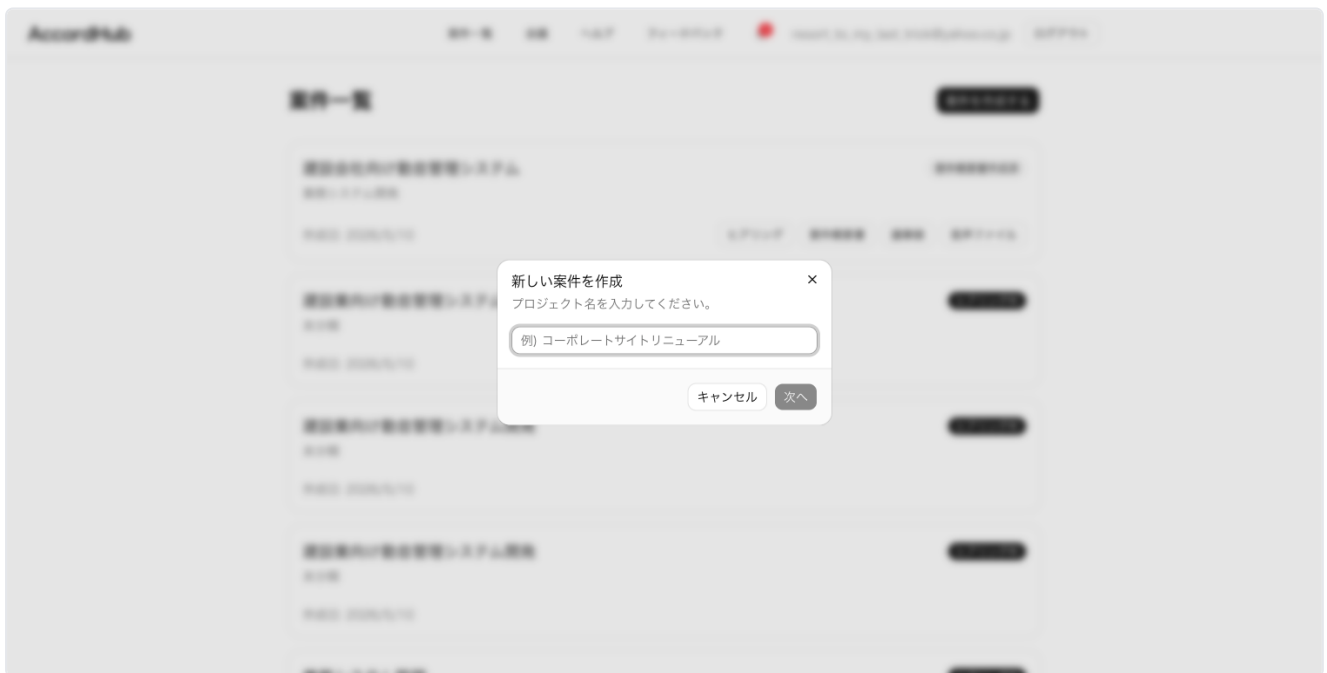
対象ユーザー: バイヤー (案件オーナーになる人)

この節で学べること

- 新しい案件を立ち上げる手順
- カテゴリ選択の重要性
- 作成後の最初のステップ

操作手順

1. ヘッダの **案件一覧** をクリックして `/projects` に移動
2. 右上の **+ 新規案件** ボタンをクリック
3. ステップ 1: 案件タイトルとカテゴリを入力
 - **タイトル:** 例「自社コーポレートサイトのリニューアル」
 - **カテゴリ:** 9 種類から選択 ([2.2 カテゴリの選び方](#) を参照)
4. ステップ 2: 案件の概要を入力 (任意)
5. **作成** をクリック



作成後の流れ

案件が作成されると、自動的に案件詳細ページに遷移します。ここから次の選択肢があります。

- AI ヒアリング → [3.3 AI ヒアリング \(テキスト\)](#)
- フォーム入力 → [3.2 フォームで要件を入力する](#)
- 既存資料を取り込み → [2.6 Baseline オンボーディング](#)

注意点

- カテゴリは作成後に変更できません。慎重に選んでください
- 案件のオーナー (作成者) には自動的に owner ロールが付与されます

次に読む

- [2.2 案件カテゴリの選び方](#)
- [3.1 要件定義の 3 つの入力方法](#)

2.2 案件カテゴリの選び方

対象ユーザー: バイヤー (案件作成時)

この節で学べること

- 9 種類のカテゴリの違い
- カテゴリ選択がフォーム / ヒアリングに与える影響
- 迷ったときの選び方

カテゴリー一覧

カテゴリ	想定される案件
HP制作・リニューアル	コーポレートサイト、サービスサイト
LP制作	キャンペーン LP、製品紹介 LP
ECサイト構築	Shopify / Magento / カスタム EC
業務システム開発	社内管理ツール、勤怠 / 在庫管理など
モバイルアプリ開発	iOS / Android / クロスプラットフォーム
業務改善・DX	業務フロー再設計、自動化全般
Webアプリ・SaaS	ユーザー向け Web サービス、SaaS プロダクト
既存システム改修・保守	既存システムへの機能追加 / バグ修正
汎用	上記に当てはまらない案件、まだ決まっていないもの

選択がもたらす違い

カテゴリによって、以下が変わります。

- ヒアリングテンプレート:** AI が聞く質問内容が変わる
- 要件概要書のセクション構成:** カテゴリ特化の項目が含まれる
- フォーム入力の項目:** フォームで聞かれる項目が変わる

⚠ カテゴリは作成後に変更できません

途中で大きく方向転換するときは、現在の案件を `closed` にして 新規案件を立てる運用を推奨します。

迷ったとき

- 複数の要素が混ざっている → 主軸となる要素で選ぶ (例: SaaS+EC ならどちら主か)
- 完全に未決 → 「汎用」を選択

次に読む

- [2.3 案件のステータスとライフサイクル](#)
- [3.1 要件定義の 3 つの入力方法](#)

2.3 案件のステータスとライフサイクル

対象ユーザー: 全ユーザー (特にオーナー)

この節で学べること

- 5つのステータスの意味と使い分け
- ステータスを変更する手順
- 推奨される運用フロー

5つのステータス

ステータス	意味	想定タイミング
hearing	ヒアリング中	案件作成直後、要件をまだ集めている段階
draft	要件概要書 作成済	要件書を生成し、レビュー中
completed	完了	要件定義フェーズが完了、見積依頼の準備が整った状態
in_progress	受注後・進行中	セラーが受注し、開発・実装が動いている状態
closed	クローズ	納品済 / 中止で案件が終了した状態

ステータスを変更する手順

- 案件詳細ページを開く
- ヘッダ近くのステータスバッジ (例: 「ヒアリング中」) をクリック
- ドロップダウンから新しいステータスを選択

 SCREENSHOT: ステータスバッジとドロップダウン `assets/02-projects/03-status-dropdown.png`

推奨運用フロー

hearing → draft → completed → in_progress → closed

|

└─ 大幅な方向転換 → closed (新規案件で再スタート)

 **自動遷移はしません**

ステータスは手動で変更します。要件書を生成しただけでは `draft` に自動遷移しません。実情に合わせて手動更新してください。

次に読む

- [2.4 メンバーを招待する](#)
- [3.1 要件定義の 3 つの入力方法](#)

2.4 メンバーを招待する

対象ユーザー: バイヤー (owner ロールのみ)

この節で学べること

- 既存ユーザーを案件に招待する手順
- owner / member の権限差
- 副作用としてのセラー会社紐付け

招待手順

1. 案件詳細ページを開く
2. **メンバー招待** ボタンをクリック
3. ダイアログで、表示名 or メールアドレスで検索
4. 候補一覧から該当ユーザーをクリック
5. 招待が完了すると、相手の案件一覧に表示される

 SCREENSHOT: メンバー招待ボタン `assets/02-projects/04-invite-button.png`  SCREENSHOT: 招待ダイアログ + 検索結果 `assets/02-projects/04-invite-dialog.png`

owner と member の違い

操作	owner	member
案件の閲覧 / チャット投稿 / 議事録投稿	✓	✓
AI ヒアリング / 要件書生成	✓	✗
メンバー招待 / 削除	✓	✗
セラー会社の招待	✓	✗
RFQ ラウンド作成	✓	✗
案件ステータス変更	✓	✗

⚠ 注意点

- 招待できるのは **AccordHub に登録済みのユーザー** のみ。未登録の方には 先に新規登録をお願いしてください

- 招待時、招待相手が所属している会社が `project_seller_companies` に 自動追加されます (セラー会社紐付けの副作用)
- owner は複数立てられます。同等権限のレビュアーが必要なら owner で招待

次に読む

- [2.5 セラー会社を招待する](#)
- [4.1 共通ルームとセラー個別ルーム](#)

2.5 セラー会社を招待する

対象ユーザー: バイヤー (owner ロール)

この節で学べること

- セラー会社を案件に招待する手順
- 個別ルームの自動生成について
- 招待されたセラーが見られる範囲

招待手順

セラー会社の招待は、**そのセラー会社のメンバーを招待することで自動的に紐付け**が行われます。

1. [2.4 メンバーを招待する](#) と同じ手順で、招待したいセラー会社の社員をメンバー検索
2. 招待相手の所属会社が `project_seller_companies` に自動登録される
3. 招待されたセラー会社専用の **個別ルーム** が自動生成される

 SCREENSHOT: 招待後に表示される個別ルームタブ `assets/02-projects/05-individual-room.png`

セラー側の見え方

招待されたセラー側のユーザーは、ログイン後に該当案件が一覧に表示されます。セラーが見られる範囲は以下です。

- 案件の要件概要書 (バイヤーが共有したバージョン)
- 共通ルームのメッセージ
- 自社のセラー個別ルーム
- 自社が提出した見積
- 議事録のうち、自社紐付け or 共通会議のもの

他社の見積金額・他社の個別ルーム・他社のメンバー一覧は一切見えません。

注意点

- セラー側の方は、まず AccordHub にアカウント登録 + 所属会社の設定を済ませている必要があります ([1.3 アカウント設定](#))
- 1 案件に対して複数のセラー会社を招待できます
- 招待を外す機能は現状制限あり。慎重に招待してください

次に読む

- [4.1 共通ルームとセラー個別ルーム](#)
- [6.3 RFQ ラウンドを作成する](#)

2.6 既存案件を取り込む (Baseline オンボーディング)

対象ユーザー: バイヤー (owner)

この節で学べること

- 既に進行中の案件を AccordHub に取り込む方法
- 投入できるドキュメントの種類
- 取り込み後の状態

いつ使う機能か

- 別ツールで進めていたプロジェクトを AccordHub に切り替える
- 既存資料 (RFP / 提案書 / 議事録) を活用して、ゼロからのヒアリングを省きたい
- 途中参加 / 継続案件で、現在の状態をシステムに取り込みたい

操作手順

1. 案件作成後、サイドバーから **オンボーディング** をクリック
2. ファイルをアップロード (PDF / Markdown / DOCX 等)
3. AI が文書を解析し、要件項目を抽出
4. 抽出結果を確認し、案件の初期状態として確定

 SCREENSHOT: オンボーディング画面 `assets/02-projects/06-onboarding.png`  SCREENSHOT: AI 抽出結果のプレビュー `assets/02-projects/06-extracted.png`

取り込み後の状態

- 要件概要書 v1 が自動生成される
- ステータスが `draft` に変わる (推奨)
- 抽出されなかった項目は、後から AI ヒアリング / 手動編集で補完

⚠ 注意点

- 完全な再ヒアリングではなく、既存資料を尊重した形でフィットさせる機能です
- 抽出精度は資料の構造化度合いに依存します。Markdown 構造があると精度が 上がります

次に読む

- [3.6 要件概要書を編集する](#)

3.1 要件定義の 3 つの入力方法

対象ユーザー: バイヤー (owner)

この節で学べること

- AccordHub での要件入力 3 パターン
- どれを選ぶべきかの判断軸
- 併用も可能

3 つの入力方法

方法	向いているケース	所要時間の目安
フォーム入力	既に要件が決まっている、定型項目を埋めるだけで良い	10～30分
AI ヒアリング (テキスト)	じっくり考えながら詰めたい、ログを残したい	30～60分
AI ヒアリング (音声)	早く詰めたい、対話で発想を広げたい	15～30分

3 つの方法を **併用も可能** です。例: 音声で大枠を決め、フォームで定型項目を補完。

入力データはどこに溜まるか

すべての入力結果は `hearing_data` (内部テーブル) に項目別に蓄積されます。入力方法に関わらず、最終的に同じ「要件概要書」生成のソースになります。

次に読む

- [3.2 フォームで要件を入力する](#)
- [3.3 AI ヒアリング \(テキスト\)](#)
- [3.4 AI ヒアリング \(音声\)](#)

3.2 フォームで要件を入力する

対象ユーザー: バイヤー (owner)

この節で学べること

- フォーム画面の使い方
- 既存ファイルからの AI 抽出機能
- 保存と再開

フォーム画面の開き方

1. 案件詳細ページ → サイドバー **フォーム**で作成
2. または `/projects/[id]/form` に直接アクセス



← 開発内容を変更

業務システム開発

📎 ファイルから反映

社内業務システム、管理システム、CRM等の新規開発

すでに要件概要書が作成されています。再生成すると新しいバージョンが追加されます。

必須項目の入力状況

8 / 8

業務課題 必須

何を解決したいか、現状の困りごと

現場ごとに紙の出勤簿を集計しているため、月末の集計に2〜3日かかっている。現場監督の打刻記入もれや書き間違いが頻発し、給与計算の精度が低い。労働時間規制への対応も属人化している。

対象業務の概要 必須

どの業務プロセスを対象にするか

建設現場で働く作業員（職人）の出退勤管理、現場ごとの工数集計、休暇・残業申請、月次の給与計算用データ作成までを一気通貫で行う。

ダッシュボードに戻る

下書き保存

要件概要書を作成

管理者: 本社労務担当 2名 / 現場監督: 各現場の責任者 約10名 / 作業員（職人）: 約100名（協力会社含む）

利用者数の規模

同時利用人数、全体のユーザー数

150

主要機能 必須

何ができればいいか（CRUD、承認、帳票等）

スマホでの打刻（GPSと現場コードによる現場特定）、現場ごとの工数集計、休暇・残業の申請/承認、CSV/PDFレポート出力、月次の給与データ生成、現場別の人件費ダッシュボード

既存のシステム・ツール 必須

何を使っているか、連携の有無

紙の出勤簿、Excel（手集計）、弥生給与（給与計算）、LINE WORKS（社内コミュニケーション）

業務フロー

現状のAs-Is、期待するTo-Be

As-Is: 作業員が紙の出勤簿に記入→現場監督が回収→本社でExcelに転記→弥生給与へ手入力。To-Be: 作業員がスマホで打刻→現場監督がアプリ上で承認→本社で月次バッチ集計→弥生給与にCSVインポート。

承認フロー

段数、誰が承認するか

2段階承認: 作業員 → 現場監督（一次承認） → 本社労務担当（最終承認）。残業・休暇申請も同フロー。

データ移行

既存データの有無、量

過去6ヶ月分のExcel出勤簿（およそ100名×6ヶ月＝600件/月）の取り込み。マスタ（作業員・現場・職種）は新規登録。

アクセス方法

社内LAN限定/VPN/インターネット経由

インターネット経由

利用デバイス

PC/タブレット/スマホ

すべて

セキュリティ要件

認証方式、データ暗号化、権限管理

メール+パスワード認証、二要素認証は管理者ロール必須。ロールベースのアクセス制御。通信は全TLS。スマホアプリ側は端末ロックを必須化。

帳票出力

PDF、Excel出力等

月次レポート（PDF）、給与計算用CSV（弥生給与フォーマット）、現場別工数レポート（Excel）

運用体制

誰がマスタ設定・保守するか

本社情シス担当 1名がシステム全体の保守を担当。マスタ（現場・職種・単価）の設定は本社労務担当が実施。

予算感 必須

大まかな予算レンジ

500～1,000万円

希望納期 **必須**

いつまでに稼働させたいか

2026/08/31

API連携

既存システムとのAPI連携仕様

弥生給与とは CSV エクスポート（API連携の予定なし）。将来的に建設業向け施工管理SaaSとの連携を検討。

バッチ処理

日次/月次の自動処理

日次: 打刻データの集計と未打刻アラート / 月次: 締め処理と給与CSV生成

通知機能

メール、Slack等の通知

メール通知（承認依頼、月次締めリマインド）、LINE WORKS連携通知（残業承認依頼など）

業界特有の要件 **必須**

業界の慣習、法規制等

建設業法・働き方改革関連法による労働時間上限の管理、現場ごとの安全衛生報告との連携を考慮、協力会社（一人親方を含む）の出勤管理、社会保険加入確認

対象範囲外の関連要件

今回は対象外だが将来的にやりたいこと

安全衛生管理（KY活動・ヒヤリハット報告の電子化）は今回スコープ外、将来的に同プラットフォームに統合予定

入力手順

1. カテゴリ別の項目が表示される (HP制作なら「目的」「対象ユーザー」「ページ構成」など)
2. 各項目に入力
3. 自動保存される
4. 全項目を埋める必要はない。空欄でも進める

既存ファイルから AI 抽出

過去の RFP や提案書がある場合、ファイルアップロードで自動入力できます。

1. **既存ファイルから AI 抽出** ボタンをクリック
2. PDF / Markdown / DOCX をアップロード
3. AI が要件項目を抽出してフォームに反映
4. 抽出結果を確認・修正

 SCREENSHOT: ファイルアップロード + 抽出結果 `assets/03-requirements/02-extract.png`

次に読む

- [3.5 要件概要書を生成する](#)
- [3.3 AI ヒアリング \(テキスト\)](#) — フォームで埋まらない深い項目を深掘り

3.3 AI ヒアリング (テキストモード)

対象ユーザー: バイヤー (owner)

この節で学べること

- テキスト型 AI ヒアリングの使い方
- AI への効果的な答え方
- 要件項目の更新の見え方

開き方

1. 案件詳細ページ → サイドバー **AIヒアリング**
2. または `/projects/[id]/hearing` に直接アクセス

操作の流れ

1. AI が最初の質問を投げかける (例: 「どのようなサービスを作りたいですか?」)
2. テキストで回答
3. AI が次の質問を生成
4. 進めるごとに **要件項目** が右ペインで自動更新される

5. 信頼度スコアが各項目に付くので、低い項目は補足質問が入る
6. 大筋が固まったら、画面上部の「要件概要書を生成」ボタンへ進む

効果的な答え方

- 短文より、背景・理由を含めた答えのほうが AI の解釈精度が上がる
- 数字 (期間 / 予算 / ユーザー数) は具体値で答える
- 「いいえ、〇〇ではなく △△です」のように明示的に訂正可能

注意点

- 会話履歴は逐次保存される。途中離脱してもブラウザを閉じて再開可能
- AI の解釈ミスは、その場で訂正するか、後で要件書を直接編集

次に読む

- [3.4 AI ヒアリング \(音声モード\)](#) — 同じ画面で音声に切り替え可能
- [3.5 要件概要書を生成する](#)

3.4 AI ヒアリング (音声モード)

対象ユーザー: バイヤー (owner)

この節で学べること

- 音声モードの使い方
- マイク設定と環境
- テキストモードとの切り替え

音声モードの起動

1. ヒアリング画面で **音声モード** に切り替え (画面上部のトグル)
2. ブラウザがマイクの許可を求めたら **許可**
3. 「会話を開始」 ボタンを押す
4. AI と自然な対話形式でヒアリングが進む

 SCREENSHOT: 音声モード画面 (波形 + 会話ログ) `assets/03-requirements/04-voice-mode.png`

環境設定の推奨

- 静かな環境で実施
- 有線マイク または高品質な内蔵マイク推奨
- ブラウザ: Chrome / Edge を推奨 (Safari でも動作するが安定性は Chrome が上)

操作の流れ

1. AI が音声で質問
2. 自分も音声で回答
3. 会話の流れに沿って要件項目が自動更新される
4. テキストログも同時に画面に残る
5. 必要に応じて画面操作で訂正可能

注意点

- 騒がしい環境では認識精度が下がります
- 数字や固有名詞は明確に発音する。曖昧なら明示的にスペル確認
- 途中でテキストモードに戻すこともできる (項目データは引き継がれる)

Tips

- 「えっと」「あの」などのフィラーは AI が自動で除去します
- 音声+テキストの併用で、複雑な数値はキーボード入力 + 概念は音声、という運用も可

次に読む

- [3.5 要件概要書を生成する](#)

3.5 要件概要書を生成する

対象ユーザー: バイヤー (owner)

この節で学べること

- 要件概要書を AI で生成する手順
- 生成タイミングの判断
- バージョンが付いていく仕組み

生成手順

1. ヒアリング画面 or 案件詳細ページから **要件概要書を生成** をクリック
2. AI が `hearing_data` の項目を元に、構造化された要件書を生成
3. 数十秒待機
4. 自動的に `/projects/[id]/document` に遷移し、生成結果を表示

制約条件

予算: 初期: 500~1,000万円
納期: 2026-08-31

- 建設業法
- 働き方改革関連法

前提条件・責任分界

前提条件

- 現行の出勤簿データを新システムに移行可能
- 弥生給与とのCSV連携がスムーズに行える

クライアント準備物

出勤簿データの提供 (本社労務担当 / 導入前 / 未手配)
安全衛生管理情報 (本社労務担当 / 将来統合時 / 未手配)

納品物定義

- 必須** システム設計書 (システム運用の基礎となる文書)
- 必須** ソースコード一式 (開発された全コード)
- 推奨** テスト結果報告書 (動作確認結果)
- 推奨** 操作マニュアル (ユーザー向けの操作説明書)
- 推奨** 運用マニュアル (システム管理者向けの運用ガイド)
- 推奨** インフラ構成図 (システムのネットワーク・ハードウェアの構成)
- 必須** データ移行手順書 (データ移行手順記載)
- 推奨** API仕様書 (今後のAPI連携のため)

⚠ 未確定事項・次のアクション

- ユーザーインタフェースデザイン: 未確認 → UIデザインにはどのようなトーンを希望しますか？
- SEO対策: 未確認 → このシステムでSEOをどの程度考慮しますか？
- 運用体制: 未聴取 → 保守運用担当者はどのようにシステム管理を行いますか？
- 連携サービスの将来的な見込み: バイヤー検討中 → 将来的にどのサービスとの連携を重点的に進めたいですか？
- 勤務形態の有無: 未確認 → 現場によって異なる勤務形態の管理が必要ですか？

補足事項

将来的に施工管理SaaSへの拡張を検討中。セキュリティと運用管理に関する追加情報は今後の会議で要確認。

いつ生成するか

- ヒアリングの主要項目が埋まったら 1 度生成
- 不足が見つかったら追加ヒアリング → 再生成
- 全項目を完璧に埋める必要は無い。プロトタイプ感覚で何度も生成 OK

バージョン管理

- 生成 / 編集のたびに新しいバージョン (v1, v2, ...) が記録される
- 過去バージョンを呼び出すこともできる
- 見積依頼 (RFQ) は **特定バージョン** に紐付くため、後から要件が変わっても 過去の見積条件は守られる

次に読む

- [3.6 要件概要書を編集する](#)
- [3.7 要件概要書を PDF で出力する](#)

3.6 要件概要書を編集する

対象ユーザー: バイヤー (owner)

この節で学べること

- 要件書を手動修正する手順
- 変更履歴 (changelog) の見方
- バージョン間の比較

編集手順

1. `/projects/[id]/document` を開く
2. 編集したい項目をクリック
3. インラインで文章を修正
4. 保存ボタン (または自動保存) で確定 → 新バージョンが作成される

 SCREENSHOT: インライン編集 `assets/03-requirements/06-editing.png`

変更履歴 (changelog)

- 各バージョンの変更内容が `requirement_doc_changes` に記録される
- 画面右の「変更履歴」タブから、いつ何が変わったか確認可能
- ロールバック (過去バージョンに戻す) は現状未対応

 SCREENSHOT: 変更履歴パネル `assets/03-requirements/06-changelog.png`

バージョン比較

- 「v1 と v2 を比較」ボタンで、差分ハイライト表示
- 主に追加 / 修正された箇所を明示

注意点

- 編集権限は owner のみ。member ロールは閲覧のみ
- 提出済みの RFQ ラウンドに紐付くバージョンは、要件書本体には影響しない (ラウンドは特定バージョンに固定されているため)

次に読む

- [3.7 要件概要書を PDF で出力する](#)
- [6.3 RFQ ラウンドを作成する](#)

3.7 要件概要書を PDF で出力する

対象ユーザー: 全ユーザー (要件書を閲覧できる人)

この節で学べること

- PDF 出力の手順
- 特定バージョンの PDF 取得
- 出力レイアウトの仕様

出力手順

1. `/projects/[id]/document` を開く
2. 画面右上の **PDF 出力** ボタンをクリック
3. ブラウザがダウンロード or 新規タブで PDF を表示

 SCREENSHOT: PDF 出力ボタン `assets/03-requirements/07-pdf-button.png`  SCREENSHOT: 出力された PDF サンプル `assets/03-requirements/07-pdf-sample.png`

特定バージョンの PDF 取得

- 変更履歴パネルから過去バージョンを選択
- そのバージョンの状態で **PDF 出力** をクリック
- 任意のバージョンの PDF を後から取得可能

出力レイアウト

- レンダリングは `@react-pdf/renderer` を使用
- AccordHub 標準の縦書き / 横書き / フォント設定
- カバーページ + 目次 + セクションごとに改ページ

Tips

- セラーに渡す資料として、PDF をメール添付する運用が一般的
- 画面共有でなく PDF を渡すと、後で参照しやすい

次に読む

- [4.1 共通ルームとセラー個別ルーム](#)
- [6.3 RFQ ラウンドを作成する](#)

3.8 要件概要書を承認する (確定)

対象ユーザー: バイヤー (owner)

この節で学べること

- AI 生成物を「人が承認して確定する」フローの考え方
- 要件概要書を承認 / 承認取り消しする
- 承認とフェーズ進捗・編集の関係

なぜ承認が必要か

AccordHub の要件概要書は AI が生成します。AccordHub では「**最終確定は人が承認する**」ことを標準フローにしています。承認前は **ドラフト** (たたき台)、承認後は **確定** (合意済み) として扱い、状態がひと目で分かるようにしています。

ドラフト状態

要件概要書ページを開くと、タイトルの横に状態バッジが表示されます。承認前は「**ドラフト**」(琥珀色) です。



⚠ 承認できるのは **バイヤー (owner)** のみです。セラー (member) には承認ボタンは表示されません (閲覧は可能)。

承認して確定する

内容を確認したら、「**承認して確定する**」ボタンを押します。

承認すると:

- バッジが「**確定済み**」(緑) に変わり、**承認者と承認日時** が表示されます
- 案件ダッシュボードの「**要件概要書**」フェーズが自動的に完了 します (11.1 フェーズ進捗バー参照)
- イベントログに「要件概要書を承認 (確定)」が記録されます

承認を取り消す

承認後に修正が必要になった場合、owner は「承認を取り消す」でドラフトに戻せます。

確定後の編集は新バージョン扱い

確定済みの要件概要書をセクション編集すると、**新しいバージョンが作成され、自動的にドラフトに戻ります**。これにより「いつの内容が合意済みだったか」がバージョン単位で明確に残ります。編集後は、再度内容を確認して承認してください。



過去のバージョンは「バージョン一覧」タブからいつでも参照できます ([3.6 要件概要書を編集する](#))。

次に読む

- [3.6 要件概要書を編集する](#)
- [11.1 フェーズ進捗バーで「今どこ」を可視化する](#)

3.9 PII マスキング (会社名・個人名などの伏字)

対象ユーザー: 案件メンバー / 案件ごとに ON/OFF (デフォルト OFF)

この節で学べること

- 要件概要書を外部共有する際に、発注者を特定しうる情報 (PII) を伏字にする
- PII マスキングの ON/OFF
- 検出 → 承認/却下 → マスク版 HTML 出力 の流れ

PII マスキングとは

要件概要書を社外 (協力会社・候補ベンダーなど) に共有する場面で、「**発注者が誰か**」を伏せたいことがあります。PII マスキングは、会社名・個人名・社内固有のシステム名・メール・電話番号といった情報を検出し、`[会社A]` のような プレースホルダーに置き換える機能です。

⚠ デフォルトは **OFF** です。必要な案件だけ ON にしてください。

ON/OFF を切り替える

案件ダッシュボードの「**設定**」セクションにある「**PII マスキング**」のボタンで切り替えます。



検出する

ON にすると、要件概要書ページの下部に「**PII マスキング**」パネルが表示されます。「**PII を検出**」を押すと、最新の要件概要書を解析して候補を抽出します。



検出の対象:

種類	検出方法	例
会社名 / 個人名 / 社内固有システム名	AI (gpt-4o)	株式会社〇〇、山田太郎、社内独自の「△△管理システム」
メールアドレス / 電話番号	パターン照合	info@example.com、03-1234-5678

💡 AWS / GCP / Salesforce / 弥生給与 など、世間一般に普及した公開クラウド・SaaS・製品名は対象外です (発注者を特定しないため)。

承認 / 却下する

各候補の右側で **✓ (承認)** / **✕ (却下)** を選びます。承認した項目だけが マスク対象になります。判断は案件単位で保存され、再検出しても維持されます。

💡 再検出すると、未決定の候補は最新の解析結果で入れ替わります。承認/却下済みの 判断はそのまま残ります。

マスク版 HTML を出力する

「マスク版 HTML 出力」を押すと、承認済みの項目を [会社A] などに置換した HTML をダウンロードできます。

⚠️ **原本 (要件概要書) は変更されません** (非破壊)。マスクはエクスポートしたファイルに だけ適用されます。社外共有にはこのマスク版を使ってください。

次に読む

- 3.8 要件概要書を承認する (確定)
- 3.7 要件概要書を PDF で出力する

3.10 機能要件に受入条件 (Given / When / Then) を付ける

対象ユーザー: 全ユーザー (案件メンバー)

この節で学べること

- 受入条件 (Given/When/Then) とは / なぜ付けるか
- 受入条件の追加・編集・AI 生成
- 検収チェックリストとの連携

受入条件とは

「この機能がどうなれば完成か」を、**前提 (Given) / 操作 (When) / 期待結果 (Then)** の形で書いた、検証可能な条件です。要件を「テストできる形」にすることで、開発の手戻りと検収時の認識齟齬を防ぎます。

追加・編集する

要件概要書の **機能要件** セクションで「✏️ 編集」→ 各機能要件に **受入条件 (Given / When / Then)** 欄があります。

- **+ 受入条件を追加** で1件ずつ、前提 / 操作 / 期待結果 を入力
- 1つの機能要件に複数の受入条件を持てます
- 保存すると新しいバージョンとして記録されます

AI で生成する

受入条件欄の ✨ **AIで生成** を押すと、その機能要件の内容から AI が受入条件 (正常系・異常系) のドラフトを作成します。内容を確認・編集してから保存してください。

検収チェックリストとの連携

受入条件を付けた機能要件は、検収チェックリスト生成時に **受入条件 1 件 = チェック項目 1 件** に 展開されます (→ 10.1)。受入条件が無い要件は従来どおり 1 項目になります。

次に読む

- [3.11 AI 品質レビューで要件をチェックする](#)
- [10.1 検収チェックリストを生成する](#)

3.11 AI 品質レビューで要件をチェックする

対象ユーザー: 全ユーザー (案件メンバー)

この節で学べること

- AI 品質レビューで分かること
- 指摘への対応 (説明に反映 / 却下)

AI 品質レビューとは

機能要件と非機能要件を AI が点検し、品質上の問題を指摘する機能です。要件定義の段階で曖昧さや抜けを潰すほど、開発の手戻りは小さくなります。

実行する

要件概要書の **機能要件** セクションの ✨ **AI品質レビュー** ボタンを押します。次の観点で指摘が一覧されます。

- **曖昧**: 「速い」「使いやすい」など定量化されていない表現
- **テスト不可**: 受入条件に落とせない / 検証方法が不明
- **矛盾・重複**: 要件同士の矛盾・重複
- **抜け漏れ**: 必要な要件の欠落 (例: 作成だけで削除が無い、権限・例外系・エラー時が未定義)

機能要件に加え、**非機能要件** (3.12) も同時に点検されます。数値目標 (target) が無い・「速い」などの定性的表現で測定できない項目が、曖昧 / テスト不可として指摘されます (例: 「非機能要件『可用性 / 稼働率』: 目標値がない」)。

各指摘には重要度と、可能なら **修正案** が付きます。

指摘に対応する

- **説明に反映** (特定要件への指摘): 修正案をその機能要件の説明に反映し、新しいバージョンとして保存
- **却下**: その指摘を一覧から消す (再実行で再評価されます)

💡 指摘は都度生成され、保存されません。要件を直したら再実行してください。受入条件 (3.10) を「✨ AIで生成」で補うと、テスト可能性の指摘に対応しやすくなります。

次に読む

- 3.10 機能要件に受入条件を付ける
- 3.8 要件概要書を承認する (確定)

3.12 非機能要件 (非機能要求グレード2018)

対象ユーザー: 全ユーザー (案件メンバー)

この節で学べること

- 非機能要件が 6 大項目で整理されること
- 社会的影響度 (モデルシステム) と推奨レベルの考え方
- AI が出す叩き台をどう確定するか

非機能要件とは

「どんな機能か」(機能要件) に対して、「どれだけの品質で動くか」を定めるのが非機能要件です。稼働率・性能・セキュリティ・運用・移行・設置環境などは、抜けると後工程で大きな手戻りや追加費用につながります。

AccordHub は IPA 「非機能要求グレード2018」に準拠し、次の **6 大項目** で非機能要件を整理します。

- **可用性** — 稼働率・運用時間・障害復旧 (RTO / RPO) など
- **性能・拡張性** — 利用者数・レスポンス・将来の増加見込み など
- **運用・保守性** — 監視・バックアップ・サポート体制 など
- **移行性** — データ移行・移行時期・停止可能時間 など
- **セキュリティ** — 認証・権限・暗号化・監査ログ など
- **システム環境・エコロジー** — 設置環境・耐震・規格適合 など

カテゴリ (業務システム / HP 等) に応じて、対象となる大項目は自動で絞り込まれます。SEO は非機能要件ではなく、機能要件や技術メモ側で扱います。

社会的影響度 (モデルシステム)

要件概要書を生成すると、AI が会話内容と予算規模から **社会的影響度** を判定します。

- **小** — 影響が限定的な内部向けシステム
- **中** — 一般的な業務システム
- **大** — 停止が社会的に大きな影響を与えるシステム

判定した影響度に応じて、各項目の **推奨レベル (叩き台)** が自動設定されます。たとえば稼働率なら「中 = 99.9%」のように、影響度が上がるほど高い水準が提案されます。

内容を確認・確定する

各項目には次が表示されます。

- **メトリクス** (例: 稼働率) と **レベル** (例: L4 「99.9%」)
- **数値目標** — 会話で具体値が分かれば反映 (例: 稼働率 99.9% 以上)
- **根拠** と **出典** (グレードの項番)

💡 AI が出すのはあくまで **叩き台** です。自社の実態に合わせて確定してください。過剰な水準はコスト増に、不足は障害リスクにつながります。水準は発注者・ベンダー双方ですり合わせるのが理想です。

次に読む

- [3.11 AI 品質レビューで要件をチェックする](#)
- [3.8 要件概要書を承認する \(確定\)](#)

3.13 やらないこと (スコープ外・禁止事項)

対象ユーザー: 全ユーザー (案件メンバー)

この節で学べること

- スコープ外 (やらないこと) の決め方
- 禁止事項 (起きてはいけないこと) とは
- 禁止事項が受入条件にどうつながるか

なぜ「やらないこと」が重要か

「何を作るか」と同じくらい、「何を作らないか」「何が起きてはいけないか」を明確にすることが、認識のズレと炎上を防ぎます。AccordHub では 2 種類で整理します。

スコープ外 (対象範囲外)

今回の開発に含めない機能を「対象範囲外 (将来検討)」として記録します。AI ヒアリングでは、**隣接する機能の境界を能動的に確認**します (例: 勤怠管理なら「給与計算は含みますか?」)。「含めない」と答えたものはスコープ外として残り、後工程での「言った / 言わない」を防ぎます。

禁止事項 (起きてはいけないこと)

「このシステムで絶対に起きてはいけないこと」を禁止事項として記録します。

- 例: 「退勤打刻なしで月次を確定させない」「権限の無いユーザーが他人のデータを閲覧できない」「二重打刻を許容しない」
- 重要度 (重大 / 高 / 中) が付きます

禁止事項 → 受入条件 (異常系)

禁止事項は、機能要件の **受入条件 (3.10)** を「 AIで生成」する際の**異常系**につながります。たとえば「他人のデータ閲覧禁止」なら「権限外のアクセスを試みる → 拒否・エラー」という異常系の受入条件が作られ、検収で確認できます。

次に読む

- [3.10 機能要件に受入条件を付ける](#)
- [3.12 非機能要件 \(非機能要求グレード2018\)](#)

4.1 共通ルームとセラー個別ルーム

対象ユーザー: 全ユーザー (案件メンバー)

この節で学べること

- 2 種類のルームの違い
- どちらを使うべきかの判断軸
- 招待されたセラーの見える方

2 種類のルーム

種類	参加者	用途
共通ルーム (common)	バイヤー + 招待された全セラー	全社共通の連絡、要件の全体共有
セラー個別ルーム (individual)	バイヤー + 1 セラー会社のみ	個別交渉、技術的深掘り、プライベートな質問

AccordHub

案件一覧 会議 ヘルプ フィードバック resort_to_my_last_trick@yahoo.co.jp ログアウト

案件一覧 / 建設会社向け勤怠管理システム

案件ルーム

あなたの役割: 発注者(バイヤー) / 前回の合意ログ生成: 2026/5/10 16:23:44

メンバー (2) 合意ログを生成して要件概要書を更新

共通(仕様)

個別: セラー会社 - 建設会社向け勤怠管理システム 個別: バイヤー会社 - 業務システム開発

【共通質問】GPS打刻について、山間部や地下作業時のGPS取得が困難な現場での運用はどのように考えればよいでしょうか？フォールバックとして QR コード（現場ごとに掲示）+ 手動申告の組み合わせでも要件を満たせるか確認させてください。

発注者 2026/5/10 16:22:07

【共通質問】弥生給与へのCSVインポート仕様についてです。弥生給与のCSVテンプレートには「従業員コード」「日付」「出勤」「退勤」「休憩」「残業」等の固定列が必要かと思いますが、御社で利用中のテンプレート(列順や日付フォーマット)の現物を共有いただけますでしょうか。コード体系（既存の従業員コード）との突合方法も合わせて確認させてください。

発注者 2026/5/10 16:22:38

[共通] 発注者としてメッセージを送る...

Alt/Ctrl + Enter で送信

送信

どちらを使うか

- 全セラーに同じ情報を伝えたい → 共通ルーム

- 単価や個別条件を交渉したい → **個別ルーム**
- 個別で良い質問が出たら、答えを共通に **昇格 (promote)** することも可能 ([4.3 promote](#))

バイヤー側の見え方

- 共通 + 招待した全セラーの個別ルーム を切替表示
- セラーごとに別の温度感で進められる

セラー側の見え方

- 共通ルームと、自社の個別ルームのみ表示
- **他社の個別ルームは一切見えない** (RLS で DB レベル防御)

次に読む

- [4.2 メッセージを送信する](#)
- [4.3 メッセージを共通ルームへ昇格する](#)

4.2 メッセージを送信する

対象ユーザー: 全ユーザー (案件メンバー)

この節で学べること

- メッセージ送信の手順
- 役割表示 (発注者 / 受注者) の自動付与
- 改行と書式
- @ メンションと既読管理

送信手順

1. 案件詳細 → サイドバー **案件ルーム** をクリック
2. 共通ルーム or 個別ルームのタブを選択
3. 下部のメッセージ入力欄にテキストを入力
4. ⌘/Ctrl + Enter で送信 (Enter で改行)

AccordHúb

📁 案件一覧 🗨 会議 📅 TODO 🎧 録音 📖 ヘルプ 📧 フィードバック 📧 resort_to_my_last_trick@yahoo.co.jp ログアウト

🏠 案件一覧 / 建設会社向け動怠管理システム

案件ルーム

あなたの役割: 発注者(バイヤー) / 前回の合意ログ生成: 2026/5/10 16:23:44

👤 メンバー (2) 🔄 合意ログを生成して要件概要書を更新

共通(仕様)

個別: セラー会社 - 建設会社向け動怠管理システム

個別: バイヤー会社 - 業務システム開発

【共通質問】GPS打刻について、山間部や地下作業時のGPS取得が困難な現場での運用はどのように考えればよいでしょうか？フォールバックとしてQRコード(現場ごとに掲示) + 手動申告の組み合わせでも要件を満たせるか確認させてください。

発注者 2026/5/10 16:22:07

👤 既読 0 / 1

【共通質問】弥生給与へのCSVインポート仕様についてです。弥生給与のCSVテンプレートには「従業員コード」「日付」「出勤」「退勤」「休憩」「残業」等の固定列が必要かと思いますが、御社で利用中のテンプレート(列順や日付フォーマット)の現物を共有いただけますでしょうか。コード体系(既存の従業員コード)との突合方法も合わせて確認させてください。

発注者 2026/5/10 16:22:38

👤 既読 0 / 1

[共通] 発注者としてメッセージを送る... (@ でメンション)

⌘/Ctrl + Enter で送信 @ でメンション

📧 送信

@ メンション

文中で @ を入力すると、自分以外のメンバー候補が popover で出ます (前方一致 6 件)。

AccordHub

案件一覧会議TODO録音ヘルプフィードバックresort_to_my_last_trick@yahoo.co.jpログアウト

案件一覧 / 建設会社向け勤怠管理システム

案件ルーム

あなたの役割: 発注者(バイヤー) / 前回の合意ログ生成: 2026/5/10 16:23:44

メンバー (2) 合意ログを生成して要件概要書を更新

共通(仕様)

個別: セラー会社 - 建設会社向け勤怠管理システム

個別: バイヤー会社 - 業務システム開発

発注者 2026/5/10 16:22:07

【共通質問】GPS打刻について、山間部や地下作業時のGPS取得が困難な現場での運用はどのように考えればよいでしょうか？フォールバックとして QR コード (現場ごとに掲示) + 手動申告の組み合わせでも要件を満たせるか確認させてください。

既読 0 / 1

発注者 2026/5/10 16:22:38

【共通質問】弥生給与へのCSVインポート仕様についてです。弥生給与のCSVテンプレートには「従業員コード」「日付」「出勤」「退勤」「休憩」「残業」等の固定列が必要かと思いますが、御社で利用中のテンプレート(列順や日付フォーマット)の現物を共有いただけますでしょうか。コード体系(既存の従業員コード)との突合方法も合わせて確認させてください。

既読 0 / 1

@ t-tetsuya@the-well-shoppin... buyer

この件確認お願いします @

Alt/Ctrl + Enter で送信 @ でメンション

送信

- 候補をクリック → 入力欄上部に「宛先: @山田太郎」 chip が表示
- × ボタンで外す
- 送信すると DB の mentions に記録され、相手の画面でメッセージが青枠 + 橙バッジ で強調

既読管理

- 案件ルームを開いた瞬間、見えるルームの全メッセージが「自分の既読」に登録 されます (バックグラウンド)
- 自分が送ったメッセージの下に「👁 既読 N / M」 (送信者除く全メンバー対応) を表示
- hover で 読者の名前リスト がツールチップで出ます

⚠ 既読は自動マークのみ。手動の「未読に戻す」はありません。

役割表示

- 自分のメッセージには「発注者」または「受注者」のバッジが自動で付く
- 表示名は /account で設定したものが使われる
- 設定していない場合はメールアドレスから推測表示

⚠ 注意点

- 共通ルームでの発言は全セラーに見える。社外秘の単価情報などは個別ルームで
- 削除・編集機能は現状未対応



Tips

- 重要な意思決定はチャットだけでなく、議事録に記録するのが推奨
- 後で要件書に反映したいメッセージは、analyze で合意ログ化できる ([4.4 合意ログ生成](#))

次に読む

- [4.3 メッセージを共通ルームへ昇格する](#)
- [4.4 チャットから合意ログを生成する](#)

4.3 メッセージを共通ルームへ昇格する (promote)

対象ユーザー: バイヤー (owner のみ)

この節で学べること

- promote 機能の意味
- いつ使うか
- 昇格後のメッセージの見え方

promote とは

セラー個別ルームで交わされたメッセージを、**共通ルームに公開コピー** する操作です。

操作手順

1. セラー個別ルームを開く
2. 共通化したいメッセージにマウスオーバー
3. **共通ルームに昇格** ボタンをクリック
4. 共通ルームに新しいメッセージとして転記される
5. 元メッセージには「昇格済み」マークが付く

 SCREENSHOT: 昇格ボタン (個別ルームのメッセージ右側) `assets/04-project-room/03-promote-button.png`  SCREENSHOT: 共通ルームに転記された昇格メッセージ `assets/04-project-room/03-promoted.png`

使うシーン

- 個別で出た良い質問 → 他のセラーにも答えるべき場合
- 個別で合意した条件 → 全セラーに知らせる場合
- 個別の技術的議論で、汎用的な仕様確定があった場合

⚠ 注意点

- promote は owner のみ実行可能
- 昇格すると、共通ルームに「公開」される。社外秘な内容は注意

- セラー A の発言を昇格しても、セラー B 側では出元が誰だったかは見えない (匿名化される)

次に読む

- [4.4 チャットから合意ログを生成する](#)

4.4 チャットから合意ログを生成する (analyze)

対象ユーザー: バイヤー (owner) または 当該セラー (個別ルーム)

この節で学べること

- analyze 機能の働き
- 5 種類のラベル分類
- 要件書 / マスタードキュメントへの連携

analyze とは

ルームに溜まったメッセージを AI で解析し、**決定事項 / オープン課題 / アクション / 仮定 / 注記** の 5 種類に自動分類して合意ログを作る機能です。

操作手順

1. 案件ルームを開く
2. 画面上部の **analyze** ボタンをクリック
3. 直近のメッセージが解析される (数十秒)
4. 結果が画面下部に「合意ログ」として表示される
5. 必要に応じて要件書 / マスタードキュメントに反映

 SCREENSHOT: analyze ボタンと結果 `assets/04-project-room/04-analyze.png`

5 種類のラベル

ラベル	意味
decision (決定)	双方が合意した事項
open (オープン課題)	未解決の論点
action (アクション)	誰かが対応すべきタスク
assumption (仮定)	暗黙の前提 / 仮置き の値
note (注記)	参考情報、補足

共通ルーム vs 個別ルーム

- **共通ルーム**: 解析結果が **全社共通の要件書** に反映される
- **個別ルーム**: 解析結果が **当該セラーのマスタードキュメント** のみに反映

これによりセラー個別の交渉内容が他社に漏れない設計です。

権限

- 共通ルーム analyze: owner のみ
- 個別ルーム analyze: owner または 当該セラー

次に読む

- [5.4 議事録の AI 分析と要件書への反映](#)

5.1 会議スケジュールを作成・通知設定する

対象ユーザー: 全ユーザー

この節で学べること

- 会議スケジュールの作成手順
- 通知タイミングの設定
- カレンダー表示

作成手順

1. ヘッダの **会議** をクリック → `/meetings`
2. カレンダー画面で日付をクリック、または **+ 会議を追加**
3. ダイアログで以下を入力
 - **タイトル**: 例「キックオフ MTG」
 - **日時**: 開始日時
 - **時間 (Duration)**: 15分 / 30分 / 45分 / 1時間 / 1時間30分 / 2時間 / 3時間
 - **通知タイミング**: 5分前 / 10分前 / 15分前 / 30分前 / 1時間前
 - **対象案件**: ドロップダウンで選択
4. **作成** をクリック

AccordHub

案件一覧会議ヘルプフィードバックresort_to_my_last_trick@yahoo.co.jpログアウト

会議

会議を追加

← 前月

2026年5月

翌月 →

会議をクリックすると詳細が表示されます

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

カレンダー表示

- 月単位の表示で、自分が参加する全案件のスケジュールを並べて確認可能
- イベントをクリックすると詳細ダイアログ
- 編集 / 削除も同じダイアログから

通知について

- 設定したタイミングでブラウザ通知 (許可必要)
- メール通知は現状未対応

Tips

- 関係者にカレンダー招待を送る機能はないので、別途案内する運用になります
- 通知が来ない → ブラウザの通知許可とログイン状態を確認

次に読む

- [5.2 議事録を追加する](#)

5.2 議事録を追加する

対象ユーザー: 全ユーザー (案件メンバー)

この節で学べること

- 議事録の 3 つの投入方法
- 共通会議 vs セラー別会議の使い分け
- AI 要約パイプライン

投入方法 3 種類

方法	向くケース
テキスト直接貼り付け	Slack / メール / 別ツールから議事録をコピー
Markdown ファイルアップロード	構造化された議事録を AI に高精度で読ませたい
音声録音アップロード	録音だけ残っている、文字起こし不要

詳細: [5.3 録音から議事録を自動生成](#)

操作手順 (テキスト / Markdown)

- 案件詳細 → サイドバー **議事録** → + **議事録を追加** または `/projects/[id]/meetings/new`
- 入力方法を選択 (Raw Transcript / Markdown / 音声)
- タイトル、会議種別 (kickoff / spec_deep_dive など)、日時を入力
- 共通会議** か **セラー別会議** を選択
 - 共通: 全セラー共通の議事録 (要件書に反映可)
 - セラー別: 特定セラー会社との議事録 (該当セラーのマスタードキュメントのみに反映)
- 議事録本文を貼り付け / アップロード
- 登録** をクリック
- AI 要約パイプラインが自動で走る

AccordHub

案件一覧会議ヘルプフィードバックresort_to_my_last_trick@yahoo.co.jpログアウト

案件一覧 / 建設会社向け勤怠管理システム

議事録

建設会社向け勤怠管理システム

マスタードキュメント

議事録を追加

共通ルーム合意ログ 2026-05-10

2026-05-10

その他完了

← 要件概要書に戻る

AccordHub

案件一覧会議ヘルプフィードバックresort_to_my_last_trick@yahoo.co.jpログアウト

案件一覧 / 建設会社向け勤怠管理システム

議事録を追加

会議の議事録を入力して、AIが合意サマリーを生成します

タイトル (任意)

会議日

例: 第1回キックオフ

2026/05/10

会議の対象

個別: セラー会社 - 建設会社向け勤怠管理システム

テキスト入力

ファイル

音声

録音データ

ソースタイプ:

ブレーンデキスト

議事録テキストを貼り付けてください...

議事録を保存

← 会議一覧に戻る

AI 要約パイプライン

投入 → quick_summary 生成 → full summary 生成 → decisions 抽出 → 完了

- quick_summary : 数秒で短い要約
- full summary : より詳細な構造化サマリ

- `decisions` : 決定事項 / アクション / 仮定 / オープン課題

ステータスは `pending` → `processing` → `quick_done` → `completed` と遷移。失敗時は `failed`。

注意点

- 議事録の閲覧範囲は `seller_company_id` でスコープされる
- 共通会議で書いた合意事項のみが要件書に反映される

次に読む

- [5.3 録音から議事録を自動生成する](#)
- [5.4 議事録の AI 分析と要件書への反映](#)

5.3 録音から議事録を自動生成する

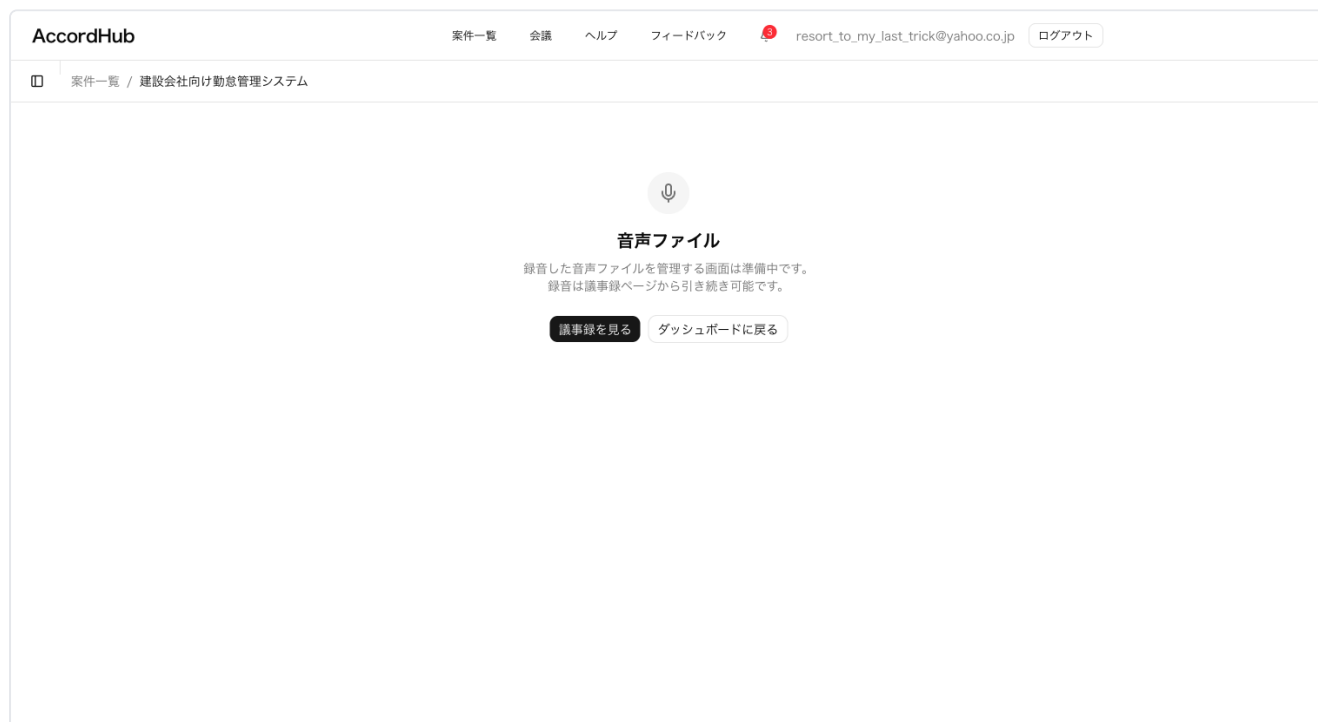
対象ユーザー: 全ユーザー (案件メンバー)

この節で学べること

- 音声ファイルから文字起こし → 議事録 への流れ
- 対応するファイル形式
- 文字起こしの精度を上げる工夫

アップロード手順

- 案件詳細 → サイドバー **音声ファイル** → + **録音をアップロード** または `/projects/[id]/recordings`
- 音声ファイルを選択 (MP3 / WAV / M4A など)
- アップロード完了後、自動で文字起こしジョブが走る
- 完了したら `recordings` 一覧でステータスが `transcribed` に



文字起こしから議事録へ

- 文字起こし完了後、議事録新規作成画面で **録音から取り込む** を選択

2. 対象の録音を選んで **取り込む**
3. 議事録が自動生成される (AI 要約パイプラインも続けて走る)

推奨環境

- 音質: 16kHz 以上、ノイズ少ない環境
- 1 ファイル: 60 分以内が理想 (それ以上は分割推奨)
- 言語: 日本語 / 英語混在 OK

Tips

- 議事録に発言者を載せたい場合は、会議冒頭で各自が名乗る
- 重要な数値・固有名詞は会議中に明示的にスペル/読みを共有しておくで精度向上

ステータス遷移

recording → uploaded → transcribed

 failed

- **failed** の場合は再アップロード or 手動文字起こしを推奨

次に読む

- [5.4 議事録の AI 分析と要件書への反映](#)

5.4 議事録の AI 分析と要件書への反映

対象ユーザー: バイヤー (owner)

この節で学べること

- 議事録 analyze 機能
- 要件書への自動反映の仕組み
- 由来ラベルの読み方

analyze の実行

1. 議事録詳細ページを開く
2. **要件書に反映** ボタンをクリック
3. AI が議事録から決定事項を抽出
4. 該当バージョンの要件書に変更内容が反映される

 SCREENSHOT: 議事録 analyze ボタン `assets/05-meetings/04-analyze-button.png`  SCREENSHOT: 要件書に反映された変更 (由来ラベル付き) `assets/05-meetings/04-applied.png`

反映されるルール

- **共通会議の合意事項のみ** が要件書に反映される
- セラー別会議の合意事項は、該当セラーの **マスタードキュメント** に反映 ([5.5 マスタードキュメント](#))
- これは「特定セラーとだけ合意した内容が他社に漏れない」設計

由来ラベル

要件書の各変更箇所には、由来ラベルが付きます。

- ラベル例: 「議事録: 2026-05-09 キックオフ」
- いつ、どの議事録から反映されたか追跡可能
- ロールバック時の判断材料になる

注意点

- analyze は owner のみ実行可能
- 自動的に要件書バージョンが上がる

- セラーには自動反映前の状態が見えている可能性があるので、共有タイミングに注意

次に読む

- [5.5 議事録のマスタードキュメント](#)

5.5 議事録のマスタードキュメント

対象ユーザー: 全ユーザー (案件メンバー)

この節で学べること

- マスタードキュメントの位置づけ
- 全社共通版 vs セラー別版
- 閲覧画面の使い方

マスタードキュメントとは

各議事録の合意事項を **集約した、案件全体の正規ドキュメント** です。複数の議事録の決定事項が時系列で並び、現状が一目で分かります。

2 種類のマスター

種類	スコープ	反映元
共通マスター (seller_company_id IS NULL)	全セラー共通	共通会議の analyze
セラー別マスター	特定セラー会社のみ	該当セラー個別会議の analyze

開き方

1. 案件詳細 → サイドバー **議事録** → **マスタードキュメント** タブ または
`/projects/[id]/meetings/master`
2. 共通 / セラー別 のタブで切り替え



表示内容

- 決定事項 / アクション / オープン課題の最新リスト
- 各項目の由来 (どの議事録から来たか)
- 編集 (手動上書き) も可能

Tips

- 案件の現状把握はここを見ると早い
- 「決定事項」と「オープン課題」を見比べることで、まだ詰めるべき論点が分かる

次に読む

- [6.1 見積機能の全体像](#)

5.6 音声ファイルの管理と文字起こし

対象ユーザー: 全ユーザー (案件メンバー)

この節で学べること

- Teams / Zoom などの Web 会議音声を録音する
- 録音した音声ファイルを一覧で管理する (再生 / ダウンロード / 削除)
- 録音単体から文字起こしを生成・閲覧する

録音ソースを選ぶ (Teams / Zoom 対応)

ヘッダの「録音」ボタン (または案件ダッシュボードの「今すぐ録音」) で録音ダイアログを開き、案件を選ぶと **録音ソース** を選択できます。

会議を録音 (予約なし)

録音を停止すると、議事録として保存するか確認します。

紐づける案件: 業務システム開発・変更

録音ソース

マイク (対面会議)

🎤 録音を開始

ソース	用途
マイク (対面会議)	同じ部屋での打ち合わせ。自分のマイクのみ録音
タブ音声 (Teams / Zoom 等の相手側)	Web 会議の相手側の音声を録音
タブ音声 + マイク (Web 会議, 推奨)	相手側 + 自分のマイクを合成して録音

⚠️ タブ音声は **Chrome / Edge 系のみ対応** です (Safari は非対応)。録音開始時に表示される 画面共有ダイアログで、対象タブを選び「**タブの音声も共有**」に**チェック**を入れてください。

音声ファイルを管理する

サイドバーの「音声ファイル」(案件単位) から、その案件に紐付いた録音をテーブルで確認できます。

 📁 案件一覧 🗨️ 会議 📋 TODO 🎧 録音 🛠️ ヘルプ 📧 フィードバック 👤 resort_to_my_last_trick@yahoo.co.jp ログアウト

📁 案件一覧 / 業務システム開発

🎧 音声ファイル

議事録一覧へ

この案件に紐付いた音声ファイルの一覧です。直近 200 件まで表示します。

録音日時	会議	時間	サイズ	操作
2026/04/19 21:24 2026-04-19T12:24-09.mp3	—	0:21	342 KB	▶ 再生  文字起こし生成  DL  削除
2026/04/19 21:16 2026-04-19T12:16-40.webm	—	0:17	271 KB	▶ 再生  文字起こし生成  DL  削除
2026/04/19 20:53 2026-04-19T11:53-37.webm	—	0:12	194 KB	▶ 再生  文字起こし生成  DL  削除
2026/04/19 20:46 2026-04-19T11:46-36.mp3	—	0:03	47 KB	▶ 再生  文字起こし生成  DL  削除
2026/04/19 20:45 2026-04-19T11:45-36.webm	—	0:03	47 KB	▶ 再生  文字起こし生成  DL  削除
2026/04/19 20:36 2026-04-19T11:36-42.webm	—	0:12	192 KB	▶ 再生  文字起こし生成  DL  削除
2026/04/19 19:53 2026-04-19T10:53-04.webm	—	0:12	190 KB	▶ 再生  文字起こし生成  DL  削除

各行で次の操作ができます。

- **再生** — その場でオーディオプレイヤーを展開して再生
- **DL** — mp3 (または webm) ファイルをダウンロード
- **削除** — 録音を削除 (確認ダイアログあり)
- **文字起こし / 文字起こし生成** — 後述

💡 案件一覧でも、録音がある案件にはステータスの隣に 🎧 と件数バッジが表示されます。



文字起こしを生成・閲覧する

操作列の文字起こしボタンは、録音の状態によって 3 通りに変わります。

ボタン	状態	クリックすると
文字起こし生成	未生成	Whisper で文字起こしを実行し、結果を録音に保存
文字起こし (展開)	生成済	その場でテキストを展開表示
文字起こし (リンク)	議事録に紐付き	議事録詳細ページの「文字起こし」タブへ移動

⚠ 文字起こし生成は録音の長さに応じて数秒～数十秒かかります。生成が完了すると、次回以降はワンクリックでテキストを確認できます。

次に読む

- 5.3 録音から議事録を自動生成する
- 11.2 イベントログで変更履歴を追う

6.1 見積機能の全体像と設計思想

対象ユーザー: バイヤー / セラー 両方

この節で学べること

- AccordHub の見積機能の構造 (RFQ ラウンド + レートカード)
- 設計思想 (なぜ AI が工数推定しないのか)
- 主要用語

全体構造

要件書 v3

Round 1 (期日 5/15)

セラー A: 見積 (draft / submitted)

セラー B: 見積

セラー C: 未応答

Round 2 (期日 5/22) — 要件書 v4 ベース

セラー A: 見積 v2

セラー B: 見積 v2

設計思想

工数は AI が推定しない

工数 (人月 / 時間) はセラーの技術スタック・チーム構成・既存資産・引受可能な リスクに依存します。第三者が一律に推定すると見積信頼性が下がるため、**工数はセラー入力に統一**しています。

レートカード方式

セラーが事前に職種別単価 (PM / FE / BE / デザイナー など) を登録しておき、見積時には工数だけ入力すれば金額が自動計算されます。「**条件を揃えた状態で複数社を比較**」できる仕組みです。

税抜きで統一

すべての見積は税抜き表示。複数社比較時の税率差・免税業者の影響を排除。

Round (ラウンド) 単位で運用

見積依頼は Round 単位。要件書のバージョン変更や条件変更が発生したら Round 2 を立てて再見積。
Round 1 の見積を引き継いで編集可能。

主要用語

用語	意味
RFQ	Request For Quote (見積依頼)
Round	1 回の見積依頼単位
Rate Card	セラーの単価表
draft / submitted / withdrawn	見積のステータス

次に読む

- [6.2 レートカードを登録する \(セラー\)](#)
- [6.3 RFQ ラウンドを作成する \(バイヤー\)](#)

6.2 レートカードを登録する (セラー)

対象ユーザー: セラー (会社単位の設定)

この節で学べること

- レートカードの登録手順
- 単価の設定単位 (時給 / 日給 / 月給)
- 一度の登録で複数案件で使い回せる

レートカードとは

セラー会社の **職種別の単価表** です。見積作成時に工数を入力するだけで 金額が自動計算されます。

登録手順

1. ヘッダの自分のメールアドレス → `/account` に行き、所属会社を確認
2. 会社設定画面 (現状はバックエンド管理) からレートカードを追加
3. 各エントリを入力
 - **役割** (例: PM / デザイナー / FE / BE / QA)
 - **単価** (時給 / 日給 / 月給のいずれか)
 - **金額** (税抜き JPY)
4. 保存

 SCREENSHOT: レートカード設定画面 `assets/06-quotes/02-rate-card.png`

 レートカードの UI は本ガイド作成時点では一部管理画面経由です。詳細は管理者にお問い合わせください。

設定例

役割	単位	単価 (税抜き JPY)
PM	時給	12,000
シニアエンジニア	日給	80,000
デザイナー	月給	1,200,000

一度設定すれば使い回し可能

- 同じセラー会社のメンバーが複数案件で見積を作るとき、レートカードは 会社レベルで共有
- 案件ごとに単価を変えたい場合は、見積編集画面でオーバーライド可能

次に読む

- [6.4 見積を作成・提出する](#)

6.3 RFQ ラウンドを作成する (バイヤー)

対象ユーザー: バイヤー (owner)

この節で学べること

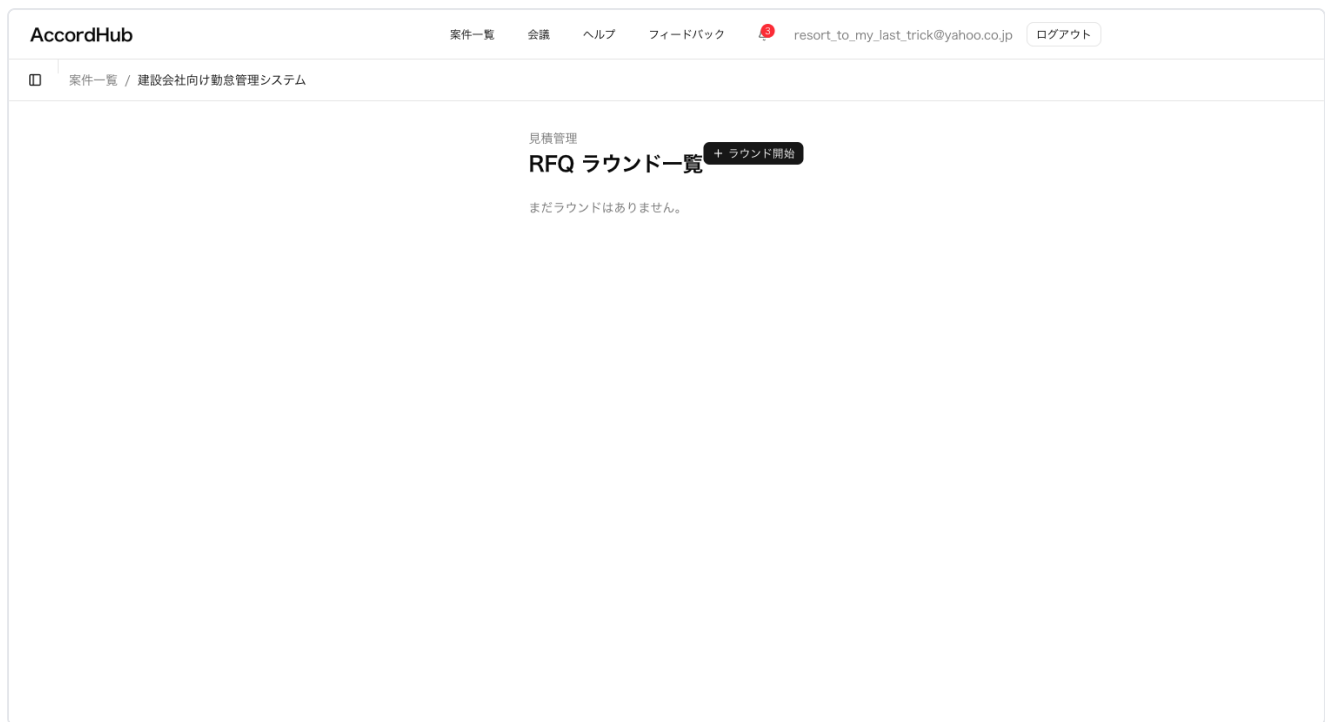
- RFQ ラウンドの作成手順
- 対象要件書バージョンの選び方
- 締切設定とコメント

前提

- 要件書が少なくとも v1 まで生成されていること
- 見積を依頼するセラー会社を案件に招待済みであること ([2.5 セラー会社を招待する](#))

作成手順

1. 案件詳細 → サイドバー **見積管理** → `/projects/[id]/quotes`
2. **+ ラウンドを作成** ボタンをクリック
3. ダイアログに以下を入力
 - **対象要件書バージョン**: ドロップダウンから選択 (例: v3)
 - **提出締切**: 日時を設定
 - **コメント** (任意): 「税抜きJPYで、納期込みでお願いします」など
4. **作成** をクリック
5. 招待されている全セラー会社に対して RFQ が出される



ラウンドのステータス

ステータス	意味
open	受付中 (締切前)
closed	受付終了

締切日時が過ぎると自動的に `closed` に遷移します。締切後は **未応答セラーが可視化** されます。

⚠ 注意点

- ラウンド作成は owner のみ
- 作成後にバージョンを変えることはできません。Round 2 として新規作成

次に読む

- [6.5 複数セラーの見積を比較する](#)
- [6.6 Round 2 を実施する](#)

6.4 見積を作成・提出する (セラー)

対象ユーザー: セラー (招待されたセラー会社のメンバー)

この節で学べること

- ラウンドへの応答手順
- 見積項目の階層構造
- 提出後の編集制限

前提

- バイヤーから案件に招待されている
- レートカードが設定済み (推奨, [6.2](#))

操作手順

1. ログイン後、案件一覧から該当案件を開く
2. サイドバー **見積管理** → 進行中の Round を選択
3. **見積を作成** ボタンをクリック → ドラフト作成
4. 階層構造で項目を入力
 - 大項目 (例: 設計フェーズ)
 - 小項目 (例: 要件詳細化, ワイヤーフレーム作成)
 - 各小項目に「役割 + 工数 + 単価 (レートカード自動)」を入力
5. **税抜き合計** が自動計算される
6. ドラフトを **保存** (途中保存可能)
7. **納期** と **備考** を入力
8. **提出する** をクリック

 SCREENSHOT: 見積編集画面 (階層構造) `assets/06-quotes/04-quote-editor.png`  SCREENSHOT: 提出ボタン `assets/06-quotes/04-submit.png`

見積のステータス

ステータス	意味
draft	編集中 (まだ提出していない)
submitted	提出済み (編集不可)
withdrawn	取り下げ

提出後の編集

- 提出済みは編集不可
- どうしても修正したい → 取り下げ (withdraw) → 再提出
- 取り下げ可能期間はラウンド締切前まで

バイヤーの代行入力

- バイヤー (owner) はセラーの見積をドラフトとして代行入力できます
- セラー側で内容を確認・修正してから提出する流れも可能

次に読む

- [6.5 複数セラーの見積を比較する](#)

6.5 複数セラーの見積を比較する

対象ユーザー: バイヤー (owner)

この節で学べること

- 比較画面の見方
- 階層単位 (大項目 / 小項目) の比較
- 選定の判断材料

比較画面の開き方

1. `/projects/[id]/quotes` でラウンド一覧
2. 比較したいラウンドをクリック → `/projects/[id]/quotes/rounds/[roundId]`

 SCREENSHOT: ラウンド詳細 (見積比較画面) `assets/06-quotes/05-compare.png`

表示される情報

- 各セラーの **合計金額 (税抜き)**
- 提出 / 未提出のステータス
- 階層別の項目金額 (折りたたみ可)

比較のコツ

単純比較

- 合計金額の安い順 / 高い順

中身を見る

- 大項目ごとの金額分布で「設計が多い vs 実装が多い」を判断
- 工数の分布から「シニア多め vs ジュニア多め」を判断

質問を投げる

- 不明点があれば、案件ルームで該当セラーに直接質問
- 個別ルームで詳細交渉、必要に応じて promote で全社に共有

注意点

- 他社の見積金額はセラー側からは見えません (RLS 防御)
- 比較画面は owner のみ閲覧可

次に読む

- [6.6 Round 2 を実施する](#)
- [4.3 メッセージを共通ルームへ昇格する](#)

6.6 Round 2 を実施する

対象ユーザー: バイヤー (owner) + セラー (応答側)

この節で学べること

- Round 2 を立てるべきタイミング
- 要件書バージョンの選び方
- セラー側で前回見積を引き継いで編集する手順

いつ Round 2 を立てるか

- Round 1 の見積が予算と大きく合わなかった (再提案を依頼)
- 要件が変わった (新しいバージョンで再見積)
- 一部セラーに条件変更を依頼したい

バイヤー側の手順

6.3 RFQ ラウンドを作成する と基本同じ。違いは：

1. ラウンド作成時、対象要件書バージョンを Round 1 と同じにするか、新しいバージョンに切り替えるか選ぶ
2. コメントに「Round 1 からの変更点」を明記しておくで親切
3. 締切を再設定

セラー側の手順

Round 2 では、Round 1 の見積をベースに編集できます。

1. Round 2 を開く → **Round 1 の見積を流用** ボタンをクリック
2. Round 1 の項目がプリセットされる
3. 変更が必要な箇所だけ修正
4. 提出

 SCREENSHOT: Round 1 流用ボタン `assets/06-quotes/06-reuse-round1.png`  SCREENSHOT: Round 2 ガイドメッセージ `assets/06-quotes/06-guide.png`

⚠ 注意点

- Round 1 と Round 2 は別レコードなので、Round 1 の見積も履歴として残る

- Round 2 に応答しても Round 1 の提出は取り消されない (両方残る)

次に読む

- [7.1 ヘルプセンターの使い方](#)

7.1 ヘルプセンターの使い方

対象ユーザー: 全ユーザー

この節で学べること

- ヘルプセンターのコンテンツ
- 動画と FAQ の違い
- 検索のコツ

ヘルプセンターを開く

1. ヘッダの **ヘルプ** をクリック → `/help`

ヘルプ

AccordHub の使い方の動画と、よくある質問をまとめています。

操作説明

各機能の使い方を短い動画でまとめています。



サービスコンセプト

AccordHub の全体像と、AI が要件定義から見積もりまでをどう支援するかを紹介します。



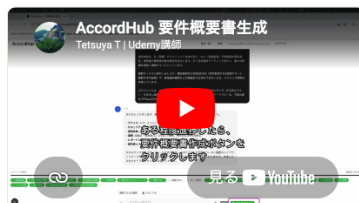
新規登録

AccordHub のアカウントを作成する手順を紹介します。最初の一步として最初にご覧ください。



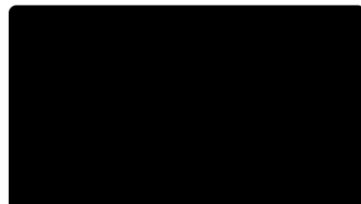
アカウント設定

表示名と所属会社の設定方法を紹介します。チャットや議事録に名前が出るので、登録直後に設定を済ませておきましょう。



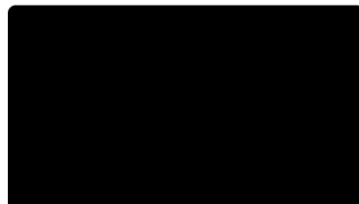
要件概要書の生成

AI ヒアリング / フォームから要件概要書を生成し、PDF 出力するまでの流れを紹介します。



会議の予約

会議のスケジュールを作成し、通知タイミングを設定する手順を紹介します。



会議の分析 (議事録から要件抽出)

議事録をアップロードして AI で要約 / 決定事項を抽出し、要件概要書に反映するフローを紹介します。

よくある質問 (FAQ)

各質問をクリックすると詳細ページに移動します。

アカウント / プロフィール

ロール (発注者 / 受注者) を後から変更できますか？

ロールは登録時に固定され、後から変更できません。

表示名や所属会社を後から変えたい

/account から表示名・所属会社を編集できます。

パスワードを忘れた・変更したい

現在は管理者経由のリセットで対応しています。

案件 (プロジェクト)

案件のカテゴリは後から変更できますか？

カテゴリは作成時に決まり、原則そのまま運用します。

案件のステータスの意味と遷移は？

hearing → draft → completed → in_progress → closed の流れです。

案件を削除する方法

現在は管理者経由で削除します。通常は closed への変更を推奨。

既に進行中の案件を AccordHub に取り込みますか？

Baseline オンボーディング機能で既存ドキュメントを取り込みます。

ヒアリング

テキストモードと音声モードの違いと使い分け

音声は自然な対話で速い、テキストは正確に確認しながら進められます。

AI が要件を勘違いしたときの修正方法

チャットで明示的に訂正するか、要件書で直接編集します。

ヒアリングを途中で中断して再開できますか？
できます。ブラウザを閉じて開き直せば続きから再開できます。

要件概要書

要件書を手動で編集したい 要件書ページから直接編集できます。バージョンが上がります。
要件書を PDF で出力する方法 要件書ページの「PDF 出力」ボタンからダウンロードできます。
要件書のバージョンの見方 (v1 / v2 が並ぶ理由) 要件書を編集 / 再生成するたびに新しいバージョンが追加されます。

メンバー / セラー会社

プロジェクトに人を招待する方法 案件ページの「メンバー招待」ダイアログからメール検索で追加します。
オーナーとメンバーの違い オーナーのみがセラー会社の招待や案件の重要操作を行います。
セラー会社を案件に招待する方法 案件のセラー管理画面から、kind=seller の会社を追加します。
招待したセラーが見られる情報の範囲 案件の要件書、自社個別ルーム、共通ルーム、自社の見積。他社情報は見えません。
機能アクセス一覧表 (バイヤー / セラー × owner / member) アカウントロールとプロジェクトメンバーロール別の機能アクセスをまとめた早見表。

案件ルーム (チャット)

「共通ルーム」と「セラー個別ルーム」の違い・使い分け 共通は全セラー共有、個別は 1 セラーとの 1 on 1。情報の出し分けに使います。
個別ルームのメッセージは他のセラーに見えますか？ 見えません。RLS で他社のメッセージはアクセス自体が拒否されます。
メッセージの「昇格 (promote)」とは？いつ使う？ 個別ルームの発言を、全セラーに見える共通ルームへ転記する操作です。
チャットから合意ログが生成される仕組み analyze 実行で AI がメッセージから決定事項を抽出して合意ログにまとめます。

議事録 / 会議

議事録のアップロード方法 テキスト貼り付け、Markdown ファイル、または音声録音から作れます。
録音から議事録を自動生成する手順 録音をアップロード → 文字起こし → 議事録バイブラインを実行します。
Markdown 形式で議事録を取り込むメリット・書式 見出し・箇条書きの構造を AI が読み取り、要約精度が上がります。
議事録から要件書が更新される仕組み 共通会議の合意事項のみが requirement_doc に取り込まれます。由来ラベル付きです。

見積 / RFQ

見積依頼 (RFQ ラウンド) の作り方 案件の見積ページからラウンドを作成。対象バージョンと締切を設定します。
工数を AI が推定しないのはなぜ？ 工数は技術判断と実装責任そのもので、セラー入力に統一しています。
レートカードとは？登録方法 セラー会社の単価表。一度登録すれば見積作成時に自動で適用されます。
見積金額は税抜き / 税込みのどちらですか？ 税抜き (excluding tax) で統一しています。税込はサブ表示。
Round 2 を実施する条件 要件変更や金額交渉のため、新しいラウンドを立てて再見積を依頼できます。
複数セラーの見積を比較する方法 ラウンド画面で各社の見積を一覧表示し、項目単位で比較できます。

通知 / スケジュール

会議の通知タイミングを変えたい 会議作成時に 5/10/15/30/60 分前から選べます。
--

セキュリティ / プライバシー

データはどこに保存されますか？ Supabase (PostgreSQL) と Supabase Storage に暗号化されて保存されます。
セラーには「他社の見積金額」は見えないことの保証 RLS でセラー会社単位にスコープ分離。他社の quote 行は読めません。

トラブルシューティング

--

コンテンツの種類

種類	用途
操作説明動画	短い動画で機能を視覚的に確認
FAQ	よくある質問への回答、テキスト中心

操作説明動画

- サービスコンセプト (全体像)
- 新規登録 / アカウント設定
- 要件概要書の生成
- 会議の予約 / 分析
- (順次追加予定)

各動画は 1〜2 分。短時間で機能の流れをつかめます。

FAQ カテゴリ

- アカウント / プロフィール
- 案件 (プロジェクト)
- ヒアリング
- 要件概要書
- メンバー / セラー会社 (機能アクセス一覧表 含む)
- 案件ルーム (チャット)
- 議事録 / 会議
- 見積 / RFQ
- 通知 / スケジュール
- セキュリティ / プライバシー
- トラブルシューティング

検索のコツ

- カテゴリで絞り込む
- 質問文を読んで似た内容を探す
- それでも分からなければ [フィードバック](#) で運営に質問

次に読む

- [7.2 お知らせをチェックする](#)
- [7.3 フィードバックを送信する](#)

7.2 お知らせをチェックする

対象ユーザー: 全ユーザー

この節で学べること

- お知らせの確認方法
- ベルアイコンの NEW バッジ
- 全件一覧ページ

ベルアイコンから確認

1. ヘッダ右側のベルアイコン  をクリック
2. 直近 5 件のお知らせがドロップダウンで表示される
3. クリックで詳細にジャンプ



NEW バッジ

- 公開日から 7 日以内のお知らせには **NEW** バッジが付く
- ベルアイコンの右上に **件数バッジ** が表示される (例: 3)

全件一覧

ドロップダウン下の **全てのお知らせ** を見る から /announcements に移動。

AccordHub

案件一覧 会議 ヘルプ フィードバック resort_to_my_last_trick@yahoo.co.jp ログアウト

お知らせ

AccordHub のリリース情報・新機能・運営からのお知らせをまとめています。

お知らせ 2026-05-10 NEW

ベータ版トライアルアカウントを開放しました

モニターユーザー向けに、AccordHub の全機能を試せるトライアルアカウントを開放しました。

AccordHub は現在ベータ版です。新規登録時のロールは「**トライアル**」のみとなり、要件定義 / 議事録 / 案件ルーム / 見積 / マイページなど 全ての機能を制限なくお試しください。

試用中に気付いた不具合や改善要望は、ヘッダの「フィードバック」から お送りください。本番リリース時には、トライアルアカウントは発注者 (バイヤー) アカウントへ自動移行する予定です。

新機能 2026-05-10 NEW

ヘルプセンターを公開しました

操作説明動画と 36 本の FAQ を含むヘルプセンターをヘッダから利用できます。

ヘッダの「ヘルプ」リンクから、以下にアクセスできるようになりました。

- サービスコンセプト動画 (今後、各機能の操作動画も追加予定)
- カテゴリ別の FAQ (アカウント / 案件 / ヒアリング / 要件書 / メンバー / 案件ルーム / 議事録 / 見積 / 通知 / セキュリティ など)
- 役割別の機能アクセス一覧表 (バイヤー / セラー × owner / member)

疑問点は FAQ で解決できる場合があります。それでも解消しない場合は、 フィードバックフォームからご連絡ください。

リリース 2026-05-09 NEW

メジャーアップデート: 案件ルーム / セラー会社 / 見積機能 / マイページ

案件ルーム、セラー会社エンティティ、見積機能 (RFQ + レートカード)、マイページを一斉に追加した大型リリースです。

AccordHub は要件定義 SaaS から、発注者と受注者をつなぐ コラボレーションプラットフォームへ進化しました。今回のメジャーアップデートで以下の機能が追加されています。

- 案件ルーム (Slack 風チャット) — バイヤー × セラー間の メッセージ送受信。共通ルーム / セラー個別ルームの 2 種類で情報を出し分け
- セラー会社エンティティ — 受注者を「会社」単位で管理し、 複数案件で使い回し可能に
- 見積機能 (RFQ + レートカード) — 複数セラーに同条件で 見積依頼。レートカード方式で単価を事前登録、階層表示で項目比較しやすく
- マイページ (/account) — 表示名と所属会社の自己編集
- ユーザー招待 + プロジェクトメンバーシップ — オーナー / メンバーの権限差分管理
- 議事録/バイブライン強化 — Markdown 形式の取り込み、 合意事項の由来ラベル表示、共通会議のみ要件書へ反映

詳細は [ヘルプ](#) の FAQ をご覧ください。

お知らせの種類

種類	色	内容
リリース	緑	新機能 / 大型アップデート
新機能	青	個別の機能追加
お知らせ	黄	運営からの告知 / 注意事項

次に読む

- 7.3 フィードバックを送信する

7.3 フィードバックを送信する

対象ユーザー: 全ユーザー

この節で学べること

- フィードバックの送信手順
- 種別の選び方
- 送信履歴の確認

送信手順

- ヘッダの **フィードバック** をクリック → `/feedback`
- 種別を選択 (4 種類)
- タイトル** (100 文字以内)
- 詳細** (5～2000 文字)
- 送信する**

AccordHub

案件一覧会議ヘルプフィードバックresort_to_my_last_trick@yahoo.co.jpログアウト

フィードバック

AccordHub をより良くするために、ご意見・ご要望をお聞かせください。 バグ報告・新機能リクエスト・既存機能の改善要望、何でも歓迎します。

種別

バグ報告
不具合 / エラー / 期待した動作と違う

機能リクエスト
新機能の希望

改善要望
既存機能の UX / 仕様の見直し

その他 (感想 / 質問)
上記に当てはまらないもの

タイトル

例: 案件ルームでメッセージ送信時にエラーが出る

0 / 100

詳細

再現手順や、期待した動作 / 実際の動作などを書いていただけると助かります。

例)
1. 案件ルームを開く
2. メッセージ入力欄に絵文字を貼り付ける
3. 送信ボタンを押す
4. エラー「Unknown failure」が表示される

0 / 2000

あなたのメールアドレス

resort_to_my_last_trick@yahoo.co.jp

返信が必要な場合のみ、このアドレスに連絡することがあります。

フィードバックを送信

過去の送信履歴

まだ送信したフィードバックはありません。

種別の選び方

種別	用途
バグ報告	不具合 / エラー / 期待と違う動作
機能リクエスト	「こんな機能が欲しい」
改善要望	既存機能の UX や仕様の見直し
その他 (感想 / 質問)	上記に当てはまらないもの

効果的な書き方

- **バグ報告**: 再現手順 / 期待動作 / 実際の動作 を書く と対応が早い
- **機能リクエスト**: 「なぜ必要か」のユースケースが分かると優先度判断が早い
- 画面 URL をタイトルに含めると場所が特定しやすい

送信履歴

- 送信後、画面下部の **過去の送信履歴** に追加される
- ステータス遷移: 受付済 → 確認中 → 対応中 → 対応完了 / 対応見送り / 重複
- 自分の送信のみ閲覧可能 (他人のフィードバックは見えない)

注意点

- 送信内容は運営に届きます。社外秘の情報は含めないでください
- 返信が必要な場合のみ、登録メールアドレスに連絡することがあります

次に読む

- [8.3 トラブルシューティング](#)

7.4 Accordに相談 (AI ヘルプアシスタント)

対象ユーザー: 全ユーザー

この節で学べること

- 「Accordに相談」でできること
- 開き方と使い方
- ロール (バイヤー / セラー) 別の案内

Accordに相談とは

AccordHub の使い方を、その場で質問できる AI ヘルプアシスタントです。本ユーザーズガイドの内容をもとに、操作手順や用語を回答します。「最初に何をすればいい?」「AI ヒアリングのやり方は?」のような質問に、あなたのロール (バイヤー / セラー) に合わせて答えます。

開き方

1. 画面 **右下** の **Accordに相談** フローティングボタンをクリック
2. 右側にチャットパネルが開く
3. ログイン後は、どの画面からでも利用できます

💡 左下の「戻る」ボタンと、左右で対になる位置にあります。

使い方

1. パネルを開くと、あなたのロールに応じた最初の案内 (おおまかな進め方) が表示されます
2. 入力欄に質問を入力し、**Enter** または送信ボタンで送信
 - 改行は **Shift + Enter**
3. 回答はガイドの該当箇所をもとに生成され、順次表示されます
4. 最初に表示される **質問候補** をクリックして始めることもできます

ロール別の最初の案内

ロール	案内されるおおまかな流れ
バイヤー / トライアル	案件作成 → AI ヒアリング → 要件概要書 → セラー招待・案件ルーム → RFQ (見積比較)
セラー	招待を受けて参加 → 案件ルーム → 要件概要書の確認 → 見積提出

知っておくと便利

- 💡 回答は**ユーザーズガイドに基づきます**。記載が無い内容は「該当の記載が見つかりませんでした」と返ることがあります。その場合は [7.1 ヘルプセンター](#) や [7.3 フィードバック](#) をご利用ください。
- ⚠️ **会話履歴は保存されません**。パネルを閉じる / ページを再読み込みすると、やりとりはリセットされます。

次に読む

- [7.1 ヘルプセンターの使い方](#)
- [7.3 フィードバックを送信する](#)

8.1 ロール × 権限の早見表

対象ユーザー: 全ユーザー (リファレンス用)

この節で学べること

- 機能ごとの操作可否を一目で確認
- 「自分の立場で何ができるか」の把握

3つのロール概念 (おさらい)

概念	値	決まるタイミング
アカウントロール	buyer / seller / trial	サインアップ時
プロジェクトメンバーロール	owner / member	案件作成 / 招待時
会社種別	buyer / seller	会社作成時

詳細は [1.4 ロールについて](#) を参照。

要件定義 / ヒアリング

機能	trial / buyer (owner)	buyer (member)	seller (member)
AI ヒアリング (テキスト / 音声)	✓	✗	✗
フォーム入力 + AI 抽出	✓	✗	✗
要件概要書 生成	✓	✗	✗
要件概要書 閲覧 / PDF 出力	✓	✓	✓

案件ルーム (チャット)

機能	trial / buyer (owner)	buyer (member)	seller (member)
共通ルーム 閲覧 / 投稿	✓	✓	✓
個別ルーム 閲覧	✓ (全社)	✗	✓ (自社のみ)
個別ルーム 投稿	✓	✗	✓ (自社のみ)
共通ルーム analyze	✓	✗	✗
個別ルーム analyze	✓	✗	✓ (自社のみ)
メッセージ promote	✓	✗	✗

議事録 / 会議

機能	trial / buyer (owner)	buyer (member)	seller (member)
議事録 アップロード	✓	✓	✓
議事録 閲覧	✓	✓	⚠ 自社紐付け or 共通のみ
議事録 analyze (要件抽出)	✓	✗	✗
会議スケジュール 作成	✓	✓	✓
録音アップロード	✓	✓	✓

見積 / RFQ

機能	trial / buyer (owner)	buyer (member)	seller (member)
RFQ ラウンド作成	✓	✗	✗
見積 編集 / 提出	✓ (代行入力)	✗	✓ (自社のみ)
自社見積 閲覧	✓	✗	✓
他社見積 閲覧 (比較)	✓	✗	✗
レートカード設定	(会社単位)	(会社単位)	✓

メンバー / セラー会社 管理

機能	trial / buyer (owner)	buyer (member)	seller (member)
メンバー招待	✓	✗	✗
メンバー一覧 閲覧	✓	✓	✓
セラー会社 招待	✓	✗	✗

グローバル / 設定

機能	バイヤー	セラー
/account マイページ	✓	✓
/projects 案件一覧	✓	✓
/meetings カレンダー	✓	✓
/help ヘルプ	✓	✓
新規 案件作成	✓	⚠ 現状制限なし

次に読む

- [8.2 用語集](#)

8.2 用語集

対象ユーザー: 全ユーザー (リファレンス用)

AccordHub で使う主要な用語の一覧です。50 音順 / アルファベット順。

あ行

- **アカウントロール**: ユーザーの永続的な役割。 `buyer` / `seller` / `trial` の 3 種類。サインアップ時に決定し変更不可
- **案件 (プロジェクト)**: 1 つの IT 開発プロジェクトの単位。要件 / 議事録 / 見積を全てまとめる
- **オンボーディング (Baseline)**: 既存案件の資料を取り込んで AccordHub で再開する機能

か行

- **会社種別 (kind)**: `buyer` または `seller`。1 社につき 1 種類
- **共通ルーム**: バイヤーと招待された全セラーが参加するチャンネル
- **キックオフ会議**: 案件開始時の最初の会議。 `meeting_type = kickoff`

さ行

- **サマリー (quick / full)**: 議事録 AI の 2 段階要約。quick が短い要約、full が詳細
- **ステータス (案件)**: `hearing` / `draft` / `completed` / `in_progress` / `closed`
- **ステータス (見積)**: `draft` / `submitted` / `withdrawn`
- **ステータス (ラウンド)**: `open` / `closed`

た行

- **トライアル (trial)**: ベータ期間中のロール。バイヤー (owner) と同等のフルアクセス

な行

- (該当なし)

は行

- **バージョン (要件書)**: 編集 / 再生成のたびにインクリメントされる番号 (v1, v2, ...)

- **バージョン (見積):** ラウンドごとに別レコード。同じセラーが Round 1, Round 2 で別の見積を持てる
- **昇格 (promote):** セラー個別ルームのメッセージを共通ルームに公開コピーする操作
- **プロジェクトメンバーロール:** 案件単位の役割。 `owner` または `member`

ま行

- **マスタートキュメント:** 議事録の合意事項を集約した正規ドキュメント。共通版とセラー別版がある
- **由来ラベル:** 要件書の変更箇所に付く出典 (どの議事録から来たか)
- **メンバー (member):** 案件の閲覧 / 発言は可能だが、招待や設定変更はできないロール

や行

- **要件概要書:** 案件の主たるドキュメント。AI が `hearing_data` から生成

ら行

- **ラウンド (Round):** 1 回の見積依頼単位。Round 1, Round 2... と並列に存在し得る
- **レートカード:** セラー会社の単価表。職種別 × 単位 (時 / 日 / 月)

A-Z

- **analyze:** メッセージ / 議事録から AI で決定事項を抽出する操作
- **owner:** 案件オーナー (招待や RFQ ラウンド作成などの強い権限)
- **promote:** → 昇格
- **RFQ:** Request For Quote (見積依頼)
- **RLS:** Row Level Security。Postgres 行単位のアクセス制御
- **scope (seller scope):** セラー会社単位のデータスコープ

次に読む

- [8.3 トラブルシューティング](#)

8.3 トラブルシューティング

対象ユーザー: 困ったときの参照

ログイン関連

Q. ログインできない

以下の順に確認してください。

1. **メール確認** が完了しているか (新規登録時に届いた確認メールのリンクをクリックしたか)
2. パスワードが正しいか (大文字小文字、空白)
3. ブラウザの Cookie / シークレットモード制限がかかっていないか
4. 別ブラウザ (Chrome / Edge / Safari) で試して切り分け
5. VPN / 企業プロキシで Supabase へのアクセスがブロックされていないか

それでも解決しないときは [フィードバック](#) からお問い合わせください。

Q. パスワードを忘れた

現在パスワードリセットフローを準備中です。運営にメールでご連絡ください。

案件・ロール関連

Q. ロール (発注者 / 受注者) を間違えて登録した

- ロールは登録時に固定で、変更できません
- 別のメールアドレスで正しいロールのアカウントを作り直してください
- 既存案件への参加が必要な場合、案件オーナーに新しいアカウントを再招待してもらう

Q. 招待したのに、相手の画面に案件が表示されない

- 相手のアカウント登録が完了しているか確認 (メール確認まで)
- 相手の所属会社が正しく設定されているか
- 招待後にブラウザリロード or 再ログインが必要な場合があります

Q. 案件に「セラー個別ルーム」が出てこない

- セラー会社が招待されていない可能性 → [2.5 セラー会社を招待する](#)
- 個別ルームはセラー会社が招待された時点で自動生成されます

要件書・議事録関連

Q. 要件書の生成が終わらない

- ヒアリングのデータ量によっては数十秒かかります
- 1分以上待っても完了しない → ブラウザリロード後に再試行
- 何度も失敗 → フィードバックから報告

Q. 議事録の文字起こしが **failed** になる

- 音声品質が低い、ファイル形式が非対応の可能性
- MP3 / WAV / M4A など標準形式で再アップロード
- 60 分を超えるファイルは分割推奨

見積関連

Q. 見積を編集できない (セラー)

- 提出済み (submitted) は編集不可。取り下げ (withdraw) すれば再編集可能
- ラウンドが closed になっている場合、新規 Round を待つ

Q. レートカードが反映されない

- レートカードは会社単位で設定。所属会社を確認
- /account で所属会社が正しく設定されているか

通知・お知らせ関連

Q. 会議の通知が届かない

- ブラウザの通知許可を確認 (アドレスバー左の鍵アイコン → 通知を許可)
- AccordHub にログインしているブラウザでのみ通知される
- ブラウザを完全に閉じている間は通知されない

Q. お知らせのバッジが消えない

- ベルアイコンのバッジは「7 日以内のお知らせ件数」を表示
- 閲覧したかどうかを判定する未読管理は現状未実装
- 7 日経つと自動で消えます

それでも解決しない場合

[7.3 フィードバックを送信する](#) から運営にご連絡ください。発生時の URL、エラーメッセージ、操作手順を含めていただけると対応がスムーズです。

9.1 プロジェクト管理の 3 ビュー

対象ユーザー: 全ユーザー (案件メンバー)

この節で学べること

- プロジェクト管理機能の 3 つのビュー (WBS / カンバン / ガント) の使い分け
- データは 1 つ、ビューが 3 つ という考え方
- どこからアクセスするか

3 ビューの考え方

AccordHub のプロジェクト管理機能は、**1 つのタスク データ (wbs_tasks)** を 3 つの異なるビューで表示します。WBS で作ったタスクはそのままカンバンにカードとして並び、ガントチャートにバーとして描かれます。

ビュー	向いている用途
WBS (ツリー)	親子関係でタスクを構造化、工数や担当を一覧編集
カンバン	状態 (TODO / 進行中 / ブロック / 完了) で進捗を可視化、DnD で動かす
ガントチャート	時間軸での計画、バーの DnD で期間調整、本日線で遅延把握

アクセス方法

サイドバー「プロジェクト管理」グループから 3 リンク。

- WBS → `/projects/<id>/wbs`
- カンバン → `/projects/<id>/kanban`
- ガントチャート → `/projects/<id>/gantt`

案件一覧の 2 段目アクションからもそれぞれ直接遷移できます。

次に読む

- [9.2 WBS でタスクを洗い出す](#)
- [9.3 カンバンで状態を動かす](#)
- [9.4 ガントチャートで日程を組む](#)
- [9.5 エクスポートと URL 共有](#)

9.2 WBS でタスクを洗い出す

対象ユーザー: 全ユーザー (案件メンバー、編集はメンバー以上)

この節で学べること

- 要件概要書から AI で WBS を自動生成する
- エピック / 子タスクの 2 階層編集
- サイドパネルで開始日 / 期限日 / マイルストーン / 工数 / 担当者 を編集
- 100% ルール ヒント (子工数合計 vs 親、進捗バー)

AI でタスクを生成する

- 案件サイドバー → プロジェクト管理 > WBS
- 「AI でタスクを生成」 ボタン → 最新の要件概要書から Must / Should の機能要件を抽出
- 各機能要件を 1 つの エピック とし、その下に AI が 子タスク (3~5 件) を提案
- 共通テンプレ (設計 / テスト / PM / 環境構築) のエピックも自動で追加

AccordHub

案件一覧会議TODO録音ヘルプフィードバックresort_to_my_last_trick@yahoo.co.jpログアウト

案件一覧 / 建設会社向け勤怠管理システム

WBS

要件概要書の Must / Should 機能要件から AI が子タスクを提案し、共通テンプレ (設計 / テスト / PM / 環境構築) も追加します。工数はセラーが入力してください。

AI で再生成CSVHTMLExcelビューを共有

開始・期限日が未設定の課題が 37 件あります一括で日付を設定

進捗 2 / 37 完了 (5%) 進行中 1 合計工数 (入力済): 0.0 h

開発 実行 スマホでの打刻機能 (D2 P2 編集テスト) 2/4 2/4

GPSと現場コードによる現場特定と打刻を行う

タスク	状態	期間	工数 (h)	担当者
GPS機能実装 スマホのGPSから位置情報を取得し、現場コードと一致させる	進行中	—	—	未割当
打刻API実装 スマホアプリからの打刻リクエストを処理するサーバーAPIを構築	完了	—	—	未割当
UI画面作成 ユーザーが直感的に打刻操作できるスマホUIを設計・実装	完了	—	—	未割当
バリデーション 正確な現場コード入力とGPS誤差の許容を検証する仕組みを構築	TODO	—	—	未割当

+ 子タスクを追加

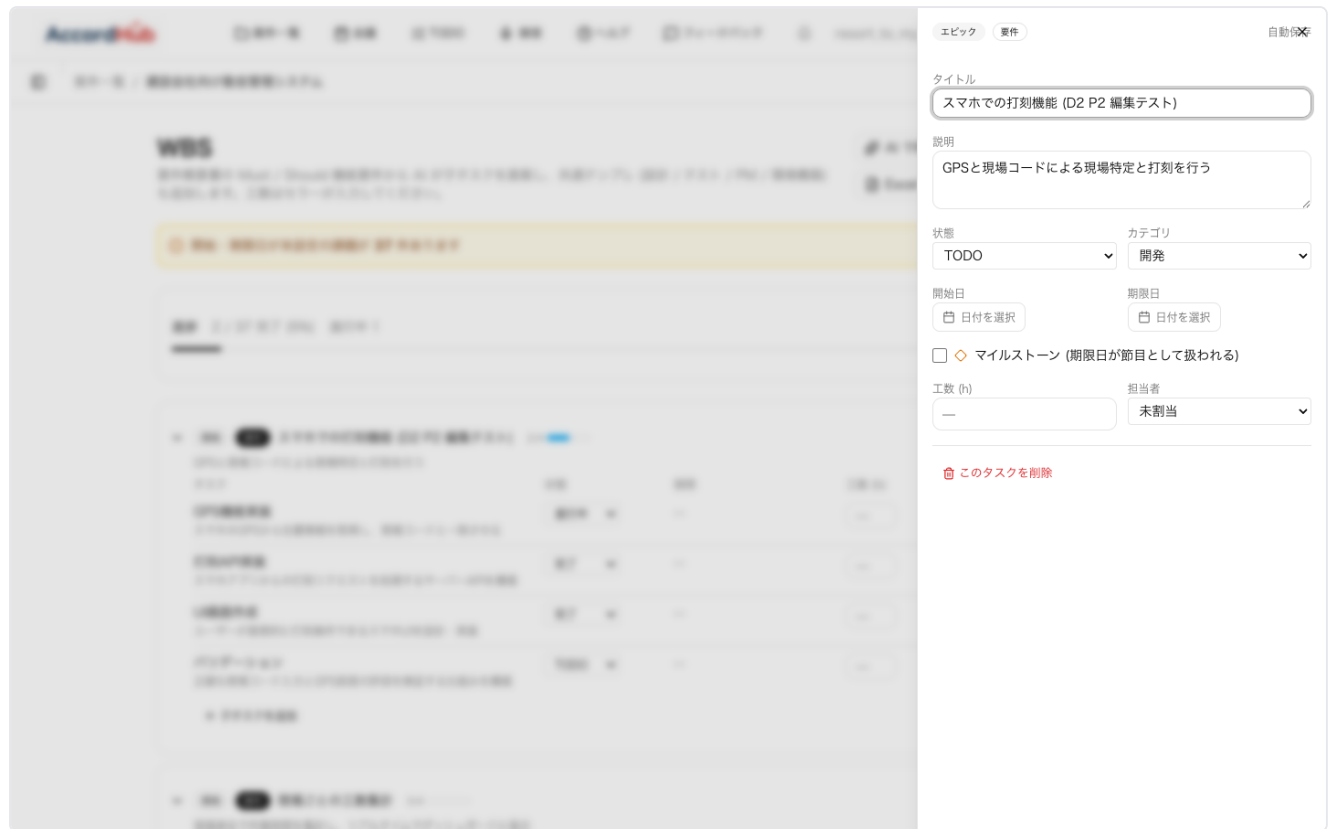
開発 実行 現場ごとの工数集計 0/4 0/4

現場単位で作業時間を集計し、リアルタイムでダッシュボードに表示

⚠ AI は **タスクの構造** (エピックと子タスク) のみ提案します。工数や日付は AI が推定せず、セラーが手入力する設計です (見積機能と一貫した方針)。

サイドパネルで詳細編集

タスクのタイトルをクリックすると、右側の **サイドパネル (Sheet)** が開きます。



編集できるフィールド:

- **タイトル / 説明**
- **状態** (TODO / 進行中 / 完了 / ブロック)
- **カテゴリ** (設計 / 開発 / テスト / PM / 環境 / その他)
- **開始日 / 期限日** (カレンダーで選択、null クリア可)
- **マイルストーン** (チェック、ON でガントにダイヤモンド表示)
- **工数 (h)**
- **担当者** (案件メンバーから選択)

すべての変更は **600ms のデバウンス後に自動保存** されます。右上の「保存中...」表示で同期状況を確認できます。

エピックの 100% ヒント

エピック行には次の 2 つのヒントが出ます。

- **進捗ミニバー**: 子タスクの完了比率 (例 5/8 + 細いバー、100% で緑チェック)
- **工数差**: 子工数合計 vs 親工数 を比較。20% 超でズレてると **橙の warning バッジ**

未スケジュール タスクの一括設定

開始日も期限日も設定されていないタスクがあると、上部に **黄色のバナー** が出ます。「一括で日付を設定」ボタンから、対象全件に同じ開始 / 期限を割り当てられます。

注意点

- 開始日 > 期限日 はサーバ側 (DB CHECK) で弾かれ、トーストでエラー
- エピックを削除すると子タスクも CASCADE で削除されます

次に読む

- [9.3 カンバンで状態を動かす](#)
- [9.4 ガントチャートで日程を組む](#)

9.3 カンバンで状態を動かす

対象ユーザー: 全ユーザー (案件メンバー、編集はメンバー以上)

この節で学べること

- 4 列カンバンでの DnD 操作
- フィルタ (担当 / カテゴリ / マイルストーン) と URL 共有
- カードクリックでサイドパネル詳細編集

カンバン ボードを開く

サイドバー 「プロジェクト管理 > カンバン」。WBS で作成済みのタスクが、状態別に 4 列に並びます。

The screenshot displays the AccordHub Kanban board for the project '建設会社向け勤怠管理システム'. The board is organized into four columns: 'TODO (34)', '進行中 (1)', 'ブロック (0)', and '完了 (2)'. Each column contains task cards with details such as 'スマホでの打刻機能 (D2 P2 編集テスト)', 'GPS機能実装', 'UI画面作成', and '打刻API実装'. The interface includes a top navigation bar with 'AccordHub' and various icons, and a sidebar with '案件一覧 / 建設会社向け勤怠管理システム'.

列の構成 (左から):

列	意味
TODO	未着手
進行中	着手中
ブロック	何かを待っている
完了	終わった

カードを動かす (DnD)

- カード上で hover → **左のグリップアイコン** が出る → ドラッグで持ち上げ
- 別の列にドロップ → status と並び順が即時更新
- 同じ列内でも並び替え可

⚠ DnD で並び替えた順序は **カンバン専用 (kanban_order)** として保存されます。WBS ツリーの並び (sort_order) や Gantt の Y 軸とは独立です。

フィルタ

上部のフィルタを変更すると、URL クエリ (?assignee=...&category=...) に同期されます。

- **担当者:** すべて / 自分 / メンバー個別
- **カテゴリ:** 設計 / 開発 / テスト / PM / 環境 / その他
- **出典:** 要件 / テンプレ / 手動
- **マイルストーンのみ:** トグル ON で `is_milestone = true` のタスクだけ

💡 URL をそのまま共有すれば、相手も同じフィルタ条件のボードを見られます。

カードの表示要素

- タイトル + 説明 (2 行までトランケート)
- カテゴリ バッジ + 出典バッジ
- 期限日 (期限超過は **赤**、3 日以内は **橙**)
- 工数 (h)
- 担当者名 (右下)
- マイルストーンは橙ダイヤモンド (◆)

カードをクリック → サイドパネル

カード本文をクリックすると、WBS / Gantt と共通の **サイドパネル** が開きます。状態だけでなく、開始日 / 期限日 / マイルストーン / 工数 など全フィールドを編集できます。

次に読む

- [9.4 ガントチャートで日程を組む](#)
- [9.5 エクスポートと URL 共有](#)

9.4 ガントチャートで日程を組む

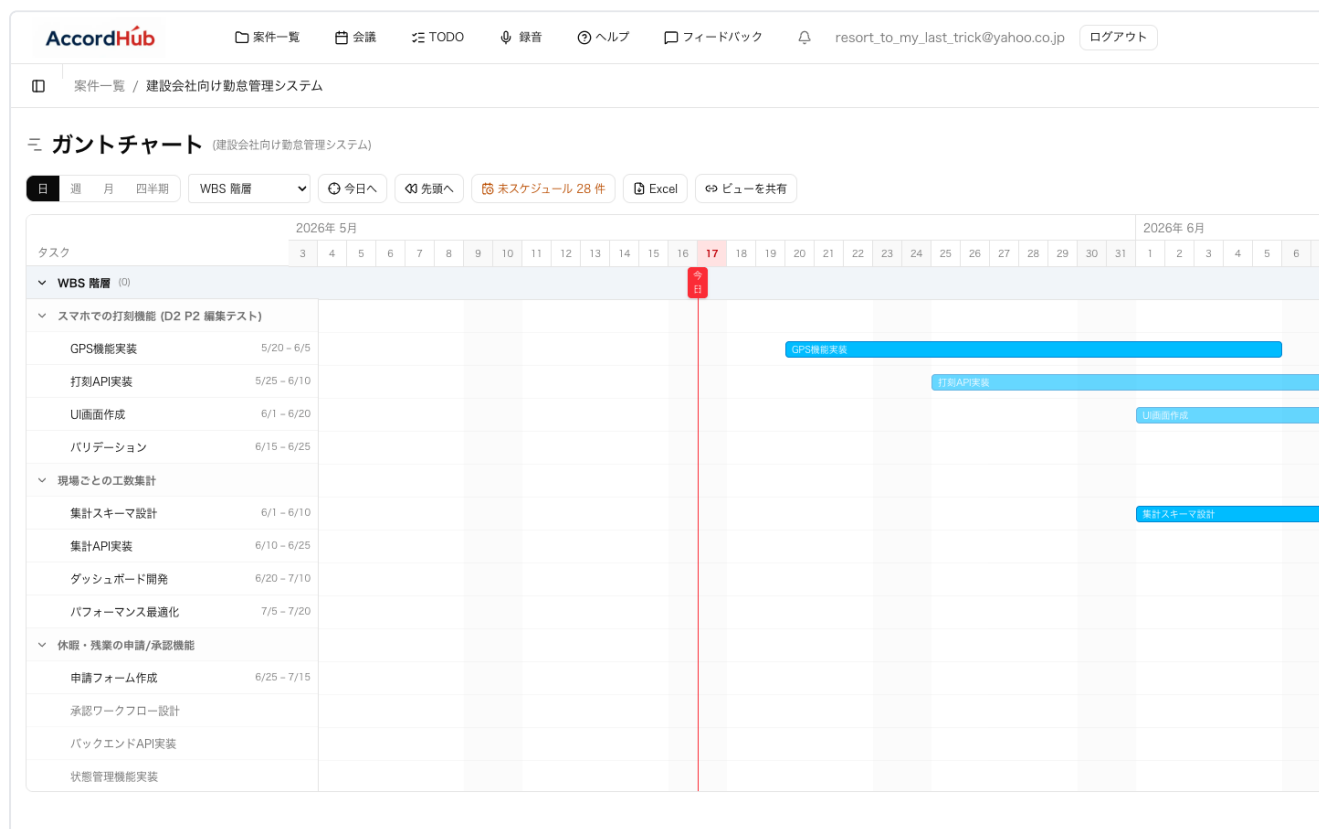
対象ユーザー: 全ユーザー (案件メンバー、編集はメンバー以上)

この節で学べること

- 2 ペイン (左 WBS / 右 タイムライン) ガントの読み方
- タイムスケール 4 段 (日 / 週 / 月 / 四半期)
- グループング (WBS / マイルストーン別 / 状態別)
- 編集モード (バー DnD + リサイズ + 親子同期)
- マイルストーン一覧でジャンプ

ガントを開く

サイドバー「プロジェクト管理 > ガントチャート」。

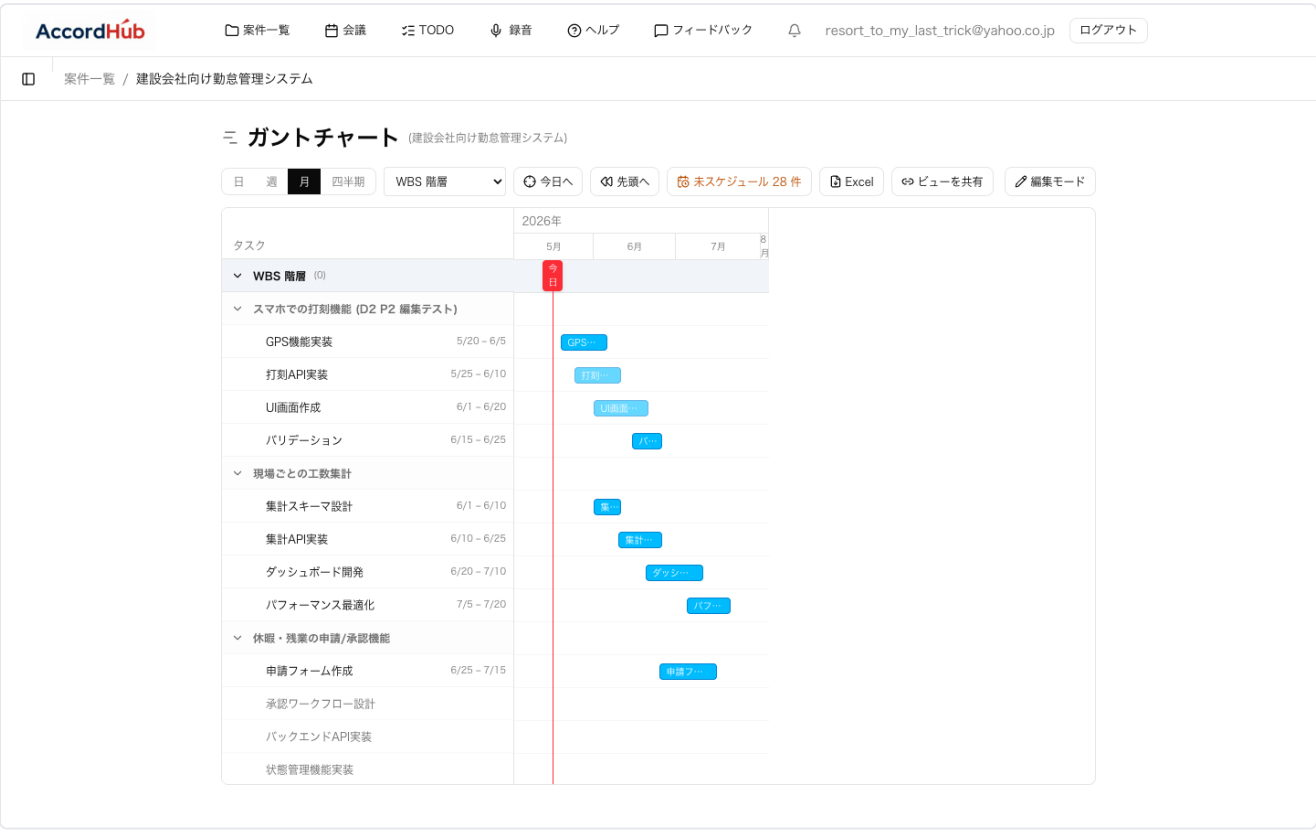


左ペイン (固定 320px): WBS ツリー + 期間ラベル。右ペイン (横スクロール): 日付軸 + バー + **本日線 (赤)**。

開始日 / 期限日 / マイルストーンのいずれかが設定されているタスクのみバーが描かれます。それ以外は左ペインで **薄色** 表示 (バーなし)。

タイムスケール切替

ツールバー左端で **日 / 週 / 月 / 四半期** を切り替え。



スケール	1 単位の幅	用途
日	32px	スプリント / 短期計画
週	60px	1～2 ヶ月のロードマップ
月	90px	半年～1 年計画
四半期	270px	中長期戦略 (Q1 / Q2 / ...)

グルーピング

「グルーピング」セレクトで左ペインの構造を切り替え。

- **WBS 階層** (デフォルト): エピック → 子タスク
- **マイルストーン別**: マイルストーンを節目として、その期限以前のタスクを束ねる
- **状態別**: 進行中 / TODO / ブロック / 完了 でセクション化

ジャンプ操作

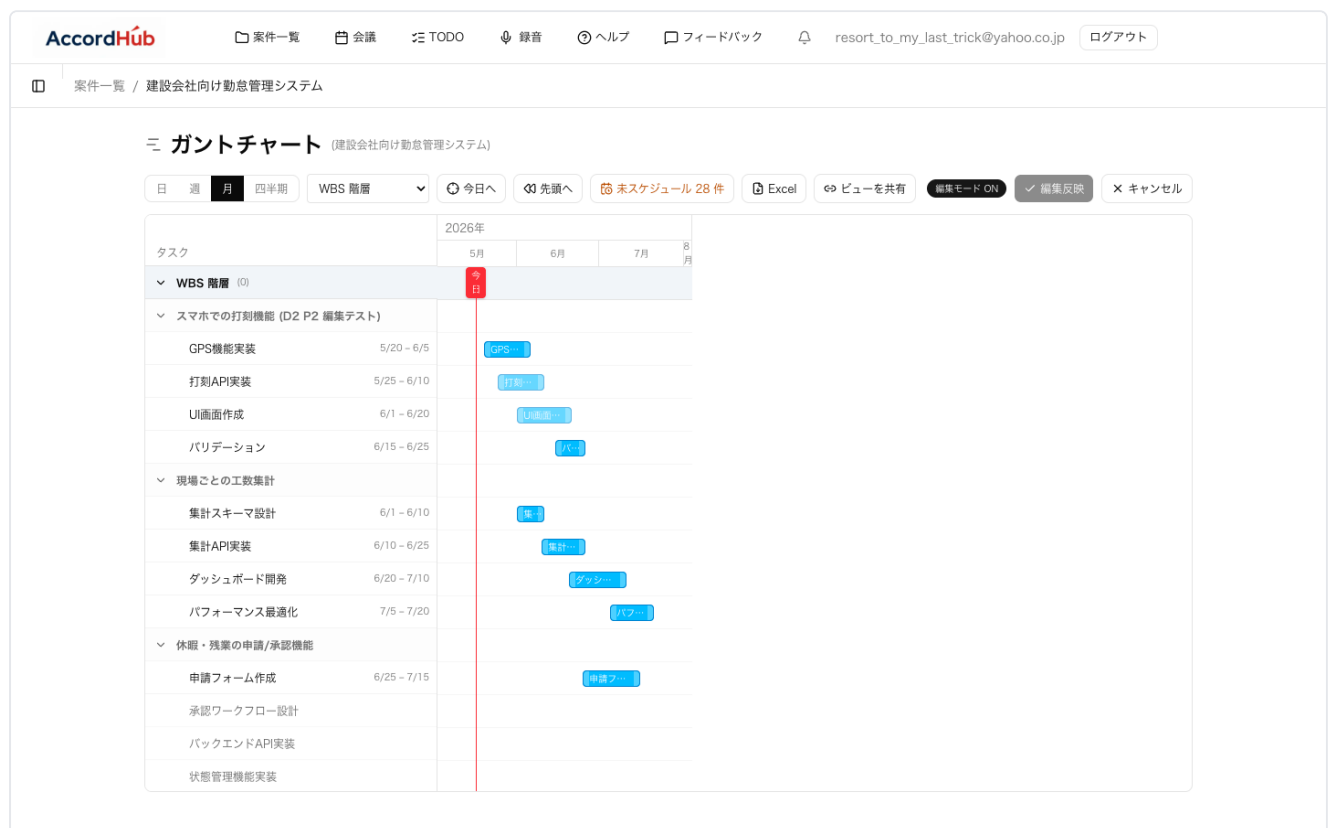
ツールバー:

- **今日へ:** 今日の位置にスムーズスクロール
- **先頭へ:** タイムライン左端へジャンプ
- **マイルストーン (N) popover:** 日付順一覧 → クリックで該当日に スクロールジャンプ

バーをクリック → サイドパネル

バーをクリック (移動なし) で、WBS / カンバン と共通の **サイドパネル** が開きます。

編集モード (バー DnD)



「**編集モード**」ボタンを ON にすると、バーがドラッグ可能になります。

- **本体ドラッグ:** 期間を delta 日数だけシフト
- **両端ハンドル** (細い白い帯): 開始 or 期限だけリサイズ
- **複数選択:** バー hover での出るチェックボックスで選択 → 1 つを動かすと選択全部が同じ delta で同期移動
- **親エピック移動:** ダイアログで「子もまとめて移動 (相対オフセット維持) / 親のみ移動」を選択

確定するまで DB は変わりません (ドラフト状態)。

- 「**編集反映**」: 1 回の API 呼び出し (`bulk-reschedule`) でまとめて保存
- 「**キャンセル**」: 全ドラフトを破棄 (確認ダイアログ)

⚠ DB CHECK (`start_date <= due_date`) 違反は 400 で日本語エラー。親範囲外の子は **警告** で返却 (反映自体は成功)。

未スケジュール タスクのハンドリング

ツールバー右側の「**未スケジュール N 件**」 ボタンから、Sheet で一覧。クリックでサイドパネルが開き、日付を設定できます。

次に読む

- [9.5 エクスポートと URL 共有](#)
- [第 10 章 検収](#)

9.5 エクスポートと URL 共有

対象ユーザー: 全ユーザー (案件メンバー)

この節で学べること

- WBS / Gantt から CSV / HTML / Excel をダウンロード
- ガントのビュー状態を URL に保存して共有

エクスポート形式

形式	用途	出力場所
CSV	Excel / Google Sheets 取り込み (BOM 付き UTF-8)	WBS / Gantt
HTML	印刷 / PDF 化、共有用に静的ページ	WBS / Gantt
Excel (.xlsx)	Office で開く、2 シート構成	WBS / Gantt

Excel の中身

- **WBS シート**: 階層番号 (#) / カテゴリ / タイトル / 説明 / 状態 / 開始 / 期限 / マイルストーン / 工数 / 担当者
- **Gantt シート**: タスク × 日付 (or 週) のマトリクス。期間中のセルに ■、マイルストーンに ◆

⚠ 日数が 120 を超える場合、Gantt シートは自動的に **週単位** に集約されます。

ビューを共有

Gantt のツールバー右側「**ビューを共有**」ボタンで、現在の URL がクリップボードにコピーされます。

URL 仕様:

パラメータ	内容
scale	day / week / month / quarter
group	wbs / milestone / status
start	表示開始日 (YYYY-MM-DD)
task	選択中のタスク id

カンバンのフィルタ条件 (assignee / category / source / milestone) も URL クエリに同期されます。そのままチャットや議事録に貼り付ければ、相手も同じビューで開けます。

Tips

- Excel は **オフラインでの工程管理資料** として活用
- HTML は別タブで開いたまま、要件概要書と並べて比較
- 共有 URL は読み取り側がメンバー権限を持っていれば、フィルタ条件まで完全に復元されます

10.1 検収チェックリストを生成する

対象ユーザー: 全ユーザー (案件メンバー)

この節で学べること

- 要件概要書から検収チェックリストを自動生成する
- OK / NG / 保留 / 未判定 の判定とコメント記録
- 進捗バー + 件数バッジ で全体把握

検収機能の位置づけ

検収チェックリストは、納品物が要件を満たしているか をチェックして合意するためのプロセスです。
要件概要書 → タスク (WBS) → 進行 (カンバン / ガント) → **検収** の最終フェーズに位置します。

チェックリストを生成する

1. 案件サイドバー → 検収 > 検収チェックリスト
2. 「チェックリストを生成する」 ボタン
3. 最新の要件概要書から **Must / Should の機能要件** が抽出され、テーブルとして並びます

AccordHub

案件一覧会議TODO録音ヘルプフィードバックresort_to_my_last_trick@yahoo.co.jpログアウト

案件一覧 / 建設会社向け勤怠管理システム

検収チェックリスト

最新の要件概要書から再生成

要件概要書の Must / Should 機能要件をもとに、納品結果を OK / NG / 保留 で記録します。

検収を完了する

進捗

6 / 7 項目判定済み (86%)

OK 5NG 1保留 0

#	優先度	要件	判定	コメント
1	Must	スマホでの打刻機能 (D2 P2 編集テスト) GPSと現場コードによる現場特定と打刻を行う	OK	NG / 保留 の理由・改善提案など
2	Must	現場ごとの工数集計 現場単位で作業時間を集計し、リアルタイムでダッシュボードに表示	OK	NG / 保留 の理由・改善提案など
3	Must	休暇・残業の申請/承認機能 作業員からの休暇・残業申請をアプリ上で管理、承認する	OK	NG / 保留 の理由・改善提案など
4	Should	メール通知機能 承認依頼や月次締め作業のリマインドをメールで通知	OK	NG / 保留 の理由・改善提案など
5	Should	LINE WORKS連携通知機能 LINE WORKSを用いた通知でリマインドや承認依頼を行う	OK	NG / 保留 の理由・改善提案など
6	Must	CSV/PDFレポート出力 月次の給与計算用CSV出力と、PDFレポートの生成	NG	NG / 保留 の理由・改善提案など

⚠ Nice-to-have / 非機能要件は対象外。非機能 (セキュリティ等) は機能要件タスク内で吸収する設計です (見積機能と一貫)。

判定とコメント

各項目に **判定プルダウン** + **コメント textarea** が並びます。

判定	意味
未判定	初期状態 / まだ確認していない
OK	要件を満たしている
NG	不足や不具合あり (改修依頼)
保留	一時的な留保 (情報待ち / 後日確認)

コメントは特に **NG / 保留 の理由・改善提案** を残すのに使います。

進捗バー + 件数バッジ

上部のサマリカード:

- 「判定済み N / M (X%)」進捗バー
- OK / NG / 保留 の件数バッジ

要件概要書が更新されたら

要件概要書が v3 から v4 に進化したのに、検収チェックリストが古い v3 ベースのままだと、上部に警告バナーが出ます。「最新の要件概要書から再生成」ボタンで追従できます (既存の判定はクリアされ、変更履歴にイベントが残ります)。

次に読む

- [10.2 変更履歴とコメント](#)
- [10.3 検収完了と HTML 報告書](#)

10.2 変更履歴とコメント

対象ユーザー: 全ユーザー (案件メンバー)

この節で学べること

- 検収プロセスの変更履歴 (再生成 / 判定 / 完了 / 再オープン) を時系列で読む
- 自由コメントを残して経緯を記録する

変更履歴パネル

テーブルの下に **変更履歴** カードがあり、検収にまつわるイベントが時系列で並びます。

AccordHub

案件一覧会議TODO録音ヘルプフィードバックresort_to_my_last_trick@yahoo.co.jpログアウト

案件一覧 / 建設会社向け勤怠管理システム

検収チェックリスト

最新の要件概要書から再生成

要件概要書の Must / Should 機能要件をもとに、納品結果を OK / NG / 保留 で記録します。

検収を完了する

進捗

6 / 7 項目判定済み (86%)

OK 5NG 1保留 0

#	優先度	要件	判定	コメント
1	Must	スマホでの打刻機能 (D2 P2 編集テスト) GPSと現場コードによる現場特定と打刻を行う	OK	NG / 保留 の理由・改善提案など
2	Must	現場ごとの工数集計 現場単位で作業時間を集計し、リアルタイムでダッシュボードに表示	OK	NG / 保留 の理由・改善提案など
3	Must	休暇・残業の申請/承認機能 作業員からの休暇・残業申請をアプリ上で管理、承認する	OK	NG / 保留 の理由・改善提案など
4	Should	メール通知機能 承認依頼や月次締め作業のリマインドをメールで通知	OK	NG / 保留 の理由・改善提案など
5	Should	LINE WORKS連携通知機能 LINE WORKSを用いた通知でリマインドや承認依頼を行う	OK	NG / 保留 の理由・改善提案など
6	Must	CSV/PDFレポート出力 月次の給与計算用CSV出力と、PDFレポートの生成	NG	NG / 保留 の理由・改善提案など
7	Must	二段階承認フロー 作業員 → 現場監督 → 本社労務担当の三者を介した承認フロー	未判定	NG / 保留 の理由・改善提案など

変更履歴 (5)

2026/05/17 14:25 - システム

要件概要書 v4 → v4 で再生成 (7 項目)

2026/05/17 14:25 - 山田太郎

納品立会いを 2026-05-20 に実施予定。本社労務担当の参加可否を確認中。

2026/05/17 14:51 - システム

要件概要書 v4 → v4 で再生成 (7 項目)

2026/05/17 14:54 - 山田太郎

検収完了 (OK 5 / NG 1 / 保留 0 / 未判定 1)

2026/05/17 14:56 - 山田太郎

検収を再オープン: 未判定の項目を判定し直す必要があるため再オープン

コメントを追加 (検収中の判断や経緯を残す)

コメントを追加

アイコン	イベント	著者	例
	再生成 (regenerated)	システム	要件概要書 v4 → v4 で再生成 (7 項目)
	コメント (comment)	ユーザー	(自由テキスト)
	完了 (completed)	ユーザー	検収完了 (OK 5 / NG 1 / 保留 0 / 未判定 1)
	再オープン (reopened)	ユーザー	検収を再オープン: <任意理由>

コメントを残す

下部のテキストエリアにフリーコメントを入力 → 「コメントを追加」。

用途の例:

- 検収中の判断の根拠
- バイヤー / セラー の協議経緯
- 次回会議での宿題

⚠ 各タスク行のコメント欄 (NG / 保留 の理由) とは別軸です。

- **行のコメント:** その項目固有の判定根拠
- **変更履歴のコメント:** 検収プロセス全体に対する記録

Tips

- 変更履歴は **検収報告書 HTML エクスポート** (10.3 参照) にも含まれます
- 再オープン時の理由を残しておくと、なぜ再判定したかが後から追えます

次に読む

- [10.3 検収完了と HTML 報告書](#)

10.3 検収完了と HTML 報告書

対象ユーザー: 全ユーザー (案件メンバー)

この節で学べること

- 検収完了アクションでスナップショットを凍結する
- HTML 報告書をダウンロードして共有
- 必要に応じて再オープンする

検収を完了する

判定が終わったら、ヘッダの「**検収を完了する**」ボタン。

確認ダイアログが出ます:

- 「未判定 N 件あります」(あれば)
- 「NG が N 件あります」(あれば)
- 「続行しますか?」

⚠ 未判定があっても完了は **続行可能** (現実の運用では「未判定 = 後日確認」になることがあるため、強制ではなく警告)。

完了すると:

- チェックリストの status が `done` に
- 全項目のスナップショットが `acceptance_reports` テーブルに凍結保存
- 変更履歴に **完了イベント** が記録 (検収完了 (OK 5 / NG 1 / 保留 0 / 未判定 1))
- 上部に **緑のバナー** (完了日時 + 完了者) + チェックリスト編集ロック

検収報告書を HTML 出力

完了済の状態で「**検収報告書を HTML 出力**」ボタン。

出力内容:

- 案件名 / 完了日時 / 完了者 / 元の要件概要書 version
- サマリ (全項目 / OK / NG / 保留 / 未判定 の件数)
- 各項目 (#, 優先度 Must/Should, 要件, 判定, コメント)
- 変更履歴

⚠ ブラウザがダウンロード フォルダに `検収報告書_YYYYMMDD_案件名.html` を保存します。Office / Google Sheets では開けません (HTML をブラウザで開いて印刷 → PDF 化が想定)。

再オープンする

完了後に「やっぱり判定をやり直したい」場合:

1. 「**検収を再オープン**」ボタン
2. 任意の理由を入力 (例: 「未判定の項目を判定し直す」)
3. status が `in_progress` に戻り、編集可能に
4. 変更履歴に **再オープン イベント** が記録
5. 完了時のスナップショット (`acceptance_reports`) は **アーカイブとして保持** されたまま

💡 再オープン → 再判定 → 再度完了 でも、過去のスナップショットは消えません (監査履歴)。

次に読む

- [第 11 章 参考情報](#)

11.1 フェーズ進捗バーで「今どこ」を可視化する

対象ユーザー: 全ユーザー (案件メンバー)

この節で学べること

- 案件ダッシュボードのフェーズ進捗バーの見方
- フェーズの完了 / 取り消し / 追加 / 削除 / リネーム
- 一部のフェーズが自動で進む仕組み (自動進捗連動)

フェーズ進捗バーとは

案件ダッシュボード (/projects/<id>) を開くと、ヘッダ直下に **フェーズ進捗バー** が表示されます。案件が「ヒアリング → 要件概要書 → 要件定義 → 設計 → 開発 → テスト → 検収 → クローズ」のどの段階にあるかを、バイヤー / セラー双方が一目で把握できます。



色の意味は次の通りです。

表示	状態	意味
緑 + チェック	done	完了したフェーズ
青	in_progress	現在進行中のフェーズ
グレー	planned	これから着手するフェーズ

💡 標準の 8 フェーズは案件作成時に自動で用意されます。案件ごとに自由に編集できます。

フェーズを完了する

進行中 (青) のフェーズの右上に表示される **『〇〇』を完了としてマーク** ボタンを押すと、そのフェーズが完了 (緑) になり、次のフェーズが自動的に進行中 (青) になります。

フェーズを編集する

フェーズのシェブロンにマウスを乗せると、操作ボタンが表示されます。

- クリック – フェーズ名をリネーム

- **+** (シェブロンの間 / 末尾) — その位置にフェーズを追加 (例: 「設計レビュー」「結合テスト」 など)
- **×** (右上) — フェーズを削除
- **↩** (完了済フェーズの右上) — 完了を取り消して未着手 (グレー) に戻す

⚠ フェーズはあくまで進捗の見える化のためのものです。削除しても、議事録 / 要件概要書 / 検収などの実データには影響しません。

自動進捗連動

一部のフェーズは、対応する操作を行うと **自動的に完了** します。手動マークと併用できます。

操作	自動で完了するフェーズ
要件概要書を初めて生成	ヒアリング / 要件概要書
検収を完了する	検収

💡 設計 / 開発 / テストなど、システム機能と直接対応しないフェーズは「完了としてマーク」で手動進行します。

次に読む

- [11.2 イベントログで変更履歴を追う](#)

11.2 イベントログで変更履歴を追う

対象ユーザー: 全ユーザー (案件メンバー)

この節で学べること

- 案件ダッシュボードのイベントログの見方
- どんな操作が記録されるか

イベントログとは

案件ダッシュボードの一番下に **イベントログ** セクションがあります。案件で「いつ・誰が・何をしたか」を時系列 (新しい順) で記録する Change log です。「進んでいるようで、実は認識がズれていた」を防ぐための共有ビューです。

🕒 イベントログ	
🕒 フェーズ「要件定義」を開始	山田太郎 · 2026/05/20 01:51
✅ フェーズ「要件概要書」を完了	山田太郎 · 2026/05/20 01:51

各行には、操作内容・操作した人・日時が表示されます。議事録や要件概要書など、関連リソースがある場合はその場からリンクで開けます。

記録される主なイベント

種類	記録されるタイミング
フェーズ操作	フェーズの追加 / 削除 / リネーム / 開始 / 完了 / 完了取り消し
議事録作成	議事録を新規作成したとき
録音保存	音声録音を保存したとき
要件概要書 version up	要件概要書を生成・更新したとき
検収	検収の完了 / 再オープン

💡 直近 50 件を表示します。新しい操作ほど上に並びます。

次に読む

- 11.1 フェーズ進捗バー
- 第 5 章 議事録と会議

11.3 Dues — あなたの担当タスク

対象ユーザー: 全ユーザー (案件メンバー)

この節で学べること

- Dues セクションに何が表示されるか
- 期限のハイライトと Change Request リンク

Dues とは

案件ダッシュボードのクイックアクセスの下に表示される、**自分が担当する未完了タスク**のサマリーです。タスク (WBS) の担当者が自分になっているものが、「何を・いつまでに」の表で一覧されます。

列	内容
何を	タスク名 (紐付く Change Request があればリンクも表示)
いつまでに	期限 (due date)
ステータス	TODO / 進行中 / ブロック
カテゴリ	設計 / 開発 / テスト など

期限の早い順に並び、未設定のタスクは末尾になります。

期限のハイライト

- **期限超過** — 赤色 (「N 日超過」)
- **期限間近 (3 日以内)** — 橙色 (「あと N 日」 / 「今日」)

Change Request へのリンク

タスクに Change Request ドキュメントが紐付いている場合 (→ [12.5](#))、行にドキュメントへのリンクが表示されます。クリックすると該当ドキュメントが開きます。

💡 自分が担当するタスクが 1 件も無いときは、Dues セクションは表示されません。完了 (done) のタスクも一覧から除外されます。

次に読む

- [12.5 タスクと紐付ける](#)

- 9.2 WBS でタスクを洗い出す

12.1 ドキュメント機能の全体像

対象ユーザー: 全ユーザー (案件メンバー)

この節で学べること

- ドキュメント機能で何ができるか / 要件概要書との違い
- 2 ペイン (ツリー + エディタ) の画面構成
- どこからアクセスするか

ドキュメントとは

案件ごとに、開発で使う自由記述のドキュメントを Confluence のように作成・整理できる機能です。**フォルダとページ**の階層で管理し、ページは見出し・リスト・コードブロック・画像・表に対応した リッチテキストで書けます。

要件概要書 (第 3 章) がヒアリングから生成する「構造化された成果物」であるのに対し、ドキュメントは Change Request や設計メモなどを**自由に書き溜める場所**です。

画面構成 (2 ペイン)

- **左ペイン (狭) — ディレクトリツリー**: フォルダ / ページの階層。Finder やエクスプローラーのように開閉できます。
- **右ペイン (広) — エディタ**: 選択したページの本文を表示・編集します。

最初は空です。左ペインの「+」から最初のフォルダ / ページを作成してください。

アクセス方法

- サイドバー「ドキュメント」
- 案件ダッシュボードのクイックアクセス「ドキュメント」
- URL: `/projects/<id>/documents`

💡 案件メンバー (バイヤー / セラー) は全員が閲覧・編集できます。

次に読む

- [12.2 フォルダとページを作成・整理する](#)
- [12.3 ページを編集する \(エディタ\)](#)
- [12.4 テンプレートから作成する](#)

- 12.5 タスクと紐付ける

12.2 フォルダとページを作成・整理する

対象ユーザー: 全ユーザー (案件メンバー)

この節で学べること

- フォルダ / ページの作成
- リネーム・削除・階層 (ネスト)
- ページの開き方

作成する

左ペイン右上の「+」から作成します。

- **フォルダを作成** — ページをまとめる入れ物
- **空ページを作成** — 白紙のページ
- **テンプレートから** — Change Request / Project (→ [12.4](#))

フォルダにマウスを乗せると出る「+」から、そのフォルダの中に作成することもできます (ネスト)。

作成直後はインラインで名前を編集できます。**Enter** で確定、**Esc** でキャンセル。

リネーム・削除

各ノードにマウスを乗せると操作ボタンが出ます。

- **名前を変更** (鉛筆アイコン) — その場で編集
- **削除** (ゴミ箱アイコン) — 確認ダイアログが出ます

⚠ フォルダを削除すると、**配下のフォルダ・ページもまとめて削除**されます。この操作は取り消せません。

ページを開く

ツリーのページをクリックすると右ペインに表示されます。フォルダはクリックで開閉します。

次に読む

- [12.3 ページを編集する \(エディタ\)](#)

12.3 ページを編集する (エディタ)

対象ユーザー: 全ユーザー (案件メンバー)

この節で学べること

- 書式 (太字 / 見出し / リスト / コードブロック など)
- 画像の挿入
- 表の作成と行 / 列の操作
- 自動保存

書式

ツールバーから次の書式を使えます。

- 太字 / 斜体 / 下線
- 見出し (H1 / H2)
- 箇条書き / 番号リスト / 引用
- コードブロック
- リンク

💡 行頭で `#` や `##` を入力すると見出しに、`-` で箇条書きになります (Markdown ショートカット)。

画像

ツールバーの画像ボタン、または画像をエディタへペースト / ドラッグ&ドロップで挿入できます (1 枚あたり 10MB まで)。

表

ツールバーの表ボタンで挿入できます (3×3 + ヘッダ行)。表の上 / 左にハンドルが出て、次の操作ができます。

- 行 / 列ハンドルにマウスを乗せる → 「+」 で行 / 列を追加
- ハンドルをクリックして行 / 列を選択 → Delete (Backspace) で削除
- セルはクリックして直接入力

💡 ツールバーの「行+ / 列+ / 行- / 表×」からも操作できます。

自動保存

編集内容は数百ミリ秒ごとに**自動保存**されます。タイトル右に「保存しました」と表示されます。明示的な保存ボタンはありません。

次に読む

- [12.4 テンプレートから作成する](#)

12.4 テンプレートから作成する

対象ユーザー: 全ユーザー (案件メンバー)

この節で学べること

- 用意されているテンプレート
- Change Request / Project の構成

テンプレートの選び方

左ペインの「+」→「テンプレートから」で選択します。

- **Change Request** — 開発の変更依頼。各セクションに表が入った状態で開きます
- **Project** — プロジェクトの背景をまとめる文書

Change Request の構成

次の見出しと表が初期投入されます。

- **概要** (本文)
- **要件** — No / 要件 / 優先度 / 備考
- **実装計画** — No / 作業内容 / 担当 / 備考
- **課題** — No / 課題 / 対応方針 / 状態
- **テストケース** — No / テスト項目 / 期待結果 / 結果
- **変更履歴** — 日付 / 版 / 変更者 / 変更内容

作成後は通常のページとして自由に編集できます (表の行 / 列追加は [12.3](#) を参照)。

Project の構成

背景 / 目的 / ステークホルダー / スコープ / 制約・前提 の見出しが入ります。

次に読む

- [12.5 タスクと紐付ける](#)

12.5 タスクと紐付ける

対象ユーザー: 全ユーザー (案件メンバー)

この節で学べること

- ドキュメントを WBS タスクに紐付ける
- 紐付けと Dues (担当タスク) の連携

タスクを紐付ける

ページ上部の「**タスクを紐付け**」から、その案件のタスク (WBS) を選んで紐付けます。Change Request を特定のタスクに対応させたいときに使います。

- 紐付けると、そのタスクの**担当者がドキュメントにも表示**されます
- **変更 / 解除** はいつでも可能です

Dues との連携

紐付けたタスクが**自分の担当**の場合、案件ダッシュボードの「**Dues**」 (→ [11.3](#)) に そのドキュメントへのリンクが表示され、ダッシュボードからワンクリックで開けます。

要件 (タスク) と変更依頼 (ドキュメント) を行き来しやすくするための仕組みです。

次に読む

- [11.3 Dues — あなたの担当タスク](#)

13.1 業務フローヒアリングの全体像

対象ユーザー: 全ユーザー (特に現場担当者)

この節で学べること

- 業務フローヒアリングとは何か、要件概要書との違い
- アクセス方法
- スイムレーン図の見方 (ノード種別・矢印)

業務フローとは

要件概要書が「発注者 (バイヤー) の視点で、何を作るか」を整理するのに対し、**業務フロー**は「現場で実際にどう仕事が行っているか」= 現場の暗黙知を可視化します。誰が・何を・どんな順序で・何を使って行うかを、AI とのチャットから **スイムレーン図 (役割 × 工程)** に構造化します。

現場の流れを figure に起こすことで、システム化すべき機能や、見落としがちな 例外処理が浮かび上がり、後工程 (機能要件・受入条件) の抜け漏れを防ぎます。

アクセス方法

案件ダッシュボードのクイックアクセス、またはサイドバーの「**業務フロー**」から開きます。

画面構成

- 左ペイン: AI チャット — 業務の流れを会話で伝えると、AI が図に整理します
- 右ペイン: スイムレーン図 (プレビュー) — チャットに応じてリアルタイムに更新されます

図の見方

レーン (列) が役割・部門・システム、フェーズ (行) が工程です。各セルにノードが置かれます。

- 担当者 / 書類 / システム / 処理 (番号付きの手順を含む) / 社外
- 判断 (分岐) — 菱形で表示
- 矢印 = 仕事のつながり (ラベルで「電話」「メール」など手段を表示)
- 赤い破線の矢印 = 例外・分岐 (うまくいかない場合の流れ)

次に読む

- 13.2 段階生成 (ハッピーパス → 分岐・例外)
- 13.4 業務フローから要件を導出する

13.2 段階生成 (ハッピーパス → 分岐・例外)

対象ユーザー: 現場担当者 (案件メンバー)

この節で学べること

- なぜ 2 段階で作るのか
- 段階の進め方と切り替え
- 例外・分岐の洗い出し方

なぜ 2 段階か

業務の流れと例外を一度に全部聞かれると、認知負荷が高く抜け漏れが起きます。AccordHub はまず **正常時の 1 本道 (ハッピーパス)** を描いて合意し、その後に **各工程の例外** を洗い出す 2 段階に分けます。白紙からではなく、**叩き台 (正常系) への赤入れ**で例外を引き出すアプローチです。

画面上部の **ステッパー** (① ハッピーパス → ② 分岐・例外) で今どの段階かが分かります。

段階 1: ハッピーパス

正常時の流れだけをチャットで伝えます。この段階では AI は例外・分岐を聞かず、登場人物 (レーン)・工程 (フェーズ)・各ステップ・つながりを正常系で組み立てます。

正常フローができたなら、「**ハッピーパスを確定 → 例外の洗い出しへ**」を押して次の段階へ進みます (ノードが 1 つも無い場合は押せません)。

段階 2: 分岐・例外

確定すると、AI が各ステップを上流から順に取り上げ、「**この作業がうまくいかない場合は?**」を 1 つずつ質問します。

- 例: 承認却下 / 在庫欠品 / 入力エラー / 天候による中止 / 書類不備で差し戻し / 顧客キャンセル
- 分岐点には **判断ノード (菱形)** が置かれ、分岐先 (再入力・上長承認・代替手配 など) もノード化されます
- 例外のつながりは **赤い破線の矢印 (kind=exception)** で表示され、**正常系の流れはそのまま保持**されます

 「**ハッピーパスに戻る**」でいつでも段階 1 に戻れます。

 ここで洗い出した例外は、そのまま機能要件の異常系や禁止事項の源泉になります (13.4)。

次に読む

- [13.4 業務フローから要件を導出する](#)
- [13.1 業務フローヒアリングの全体像](#)

13.3 現場担当者をアサインする

対象ユーザー: オーナー (バイヤー)

この節で学べること

- なぜ現場担当者にアサインするのか
- アサイン・変更・解除の方法
- 招待と同時にアサインする

なぜ現場担当者か

要件概要書は発注者の視点でまとめますが、業務フローは**現場の暗黙知**が必要です。実務を実際に行っている担当者にヒアリングを担ってもらうことで、机上では出てこない手順や例外が引き出せます。そこで業務フローヒアリングには **現場担当者** をアサインできます。

アサインする

業務フローページ上部の「**現場担当者**」バーから操作します (オーナーのみ)。

- **メンバーから選ぶ** — 既にプロジェクトに参加しているメンバーから担当者を選択
- **招待して担当に** — 名前またはメールアドレスで検索し、**招待と同時に**現場担当者へアサイン
- **担当を解除** — 現在の担当者を外す

アサインすると、案件ダッシュボードの「業務フロー」カードにも現場担当者名が表示されます。

担当者本人の表示

アサインされた本人が業務フローを開くと「**— あなたが担当しています**」と表示されます。

💡 アサインは「担当者」の明示が目的です。閲覧・編集自体は案件メンバーであれば誰でも可能です (情報の出し分けが必要な場合は別途ご相談ください)。

次に読む

- [13.1 業務フローヒアリングの全体像](#)
- [2.4 メンバーを招待する](#)

13.4 業務フローから要件を導出する

対象ユーザー: 案件メンバー

この節で学べること

- 業務フローから何が導出されるか
- 導出の操作と、項目ごとの採否 (赤入れ)
- 要件概要書への反映

何が導出されるか

業務フローは、機能要件や受入条件・禁止事項の**源泉**になります。ボタン1つで、業務フローから次の3種を導出できます。

- **機能要件候補** — アクティビティ (処理・システム操作・判断・書類のやり取り) から、システムが提供すべき機能を抽出
- **異常系の受入条件 (Given/When/Then)** — 各機能要件に、正常系に加えて**例外由来の異常系**を付与
- **禁止事項候補** — 例外・分岐から「このシステムで起きてはいけないこと」を抽出 (重要度付き)

これは「業務フロー (E3)」と「要件概要書 (E1/E2)」をつなぐ統合ポイントです。

操作手順

1. 業務フローページのプレビュー右上「**業務フローから要件を導出**」を押す
2. AI が業務フローを分析し、機能要件候補・禁止事項候補を**プレビュー**で提示する
3. 採用する項目を**チェックで選ぶ** (赤入れ)。各機能要件には受入条件 (GWT) も表示されます
4. 「**要件概要書に反映**」で、選んだ項目を要件概要書に追記する

反映のされ方

- 反映分は要件概要書の**新しいバージョン**として追記されます (変更履歴にも残ります)
- 由来が分かるよう、機能要件には**「業務フロー由来」**の注記が付きます (AI 提案)
- 既存の機能要件と**重複する名称は自動でスキップ**されます

⚠ 反映先となる要件概要書が先に必要です。まだ無い場合は案内が表示されるので、先に [3.5 要件概要書を生成](#) してください。AI が出すのはあくまで叩き台です。内容を確認し、人が確定してください。

次に読む

- [3.10 機能要件に受入条件を付ける](#)
- [3.13 やらないこと \(スコープ外・禁止事項\)](#)
- [3.5 要件概要書を生成する](#)